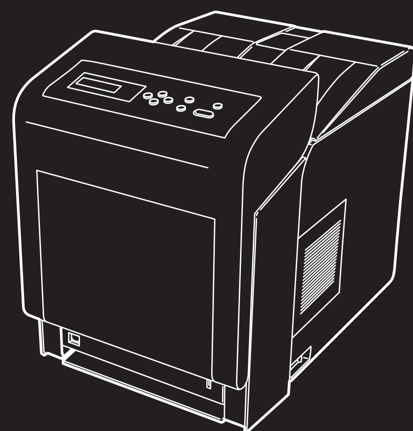
KYOCERA

使用説明書

応用編

FS-C5200DN

FS-C5300DN



ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。
お読みになった後は、本製品の近くに大切に保管してください。

はじめに

本書は次の章で構成されています。

用紙について

本機で使用できる用紙について説明しています。

操作パネル

本機の操作パネルを使った操作について説明しています。

フォント

本機の内蔵フォント一覧です。

付属マニュアルの紹介

本機には、次のマニュアルがあります。必要に応じてご参照ください。

使用説明書

本機の用紙の補給方法、各種のトラブルの対処方法について説明しています。

インストールガイド

本機の設置手順を説明しています。

日常のお手入れ

トナーコンテナの交換、お手入れ、印刷中に表示されるエラーメッセージと紙づまりへの対処のしかたなどを説明しています。

使用説明書 応用編（本書）

プリンタ機能の詳細、各種の初期設定について説明しています。

プリスクライブコマンド・リファレンスマニュアル（CD-ROM 収録）

本機の制御言語であるプリスクライブコマンドを使用して、印刷を行うためのプログラミング方法や、各コマンドについて説明しています。

KX プリンタドライバ操作手順書（CD-ROM 収録）

KX プリンタドライバの操作方法について説明しています。

KM-NET for Direct Printing 操作手順書（CD-ROM 収録）

Adobe Acrobat/Adobe Reader を起動せずに、PDF ファイルを印刷する方法について説明しています。

京セラ COMMAND CENTER 操作手順書（CD-ROM 収録）

Web ブラウザを介して、PC 上からプリンタの状態を確認したり、設定を変更したりする方法について説明しています。

本書の読みかた

本書中では説明の内容によって、次のように表記しています。

表記	説明	表記例
［太字］	操作パネル上のキーとインジケータを示します。	**［メニュー］**キーを押してください。
「太字」	メッセージディスプレイに表示されるメッセージを示します。	**「プリント デキマス」**が表示されます。
太字	製品の名称、ソフトウェアの操作画面上に表示するボタンなどの名称を示します。	・**KX プリンタドライバ操作手順書**を参照してください。 ・**OK** をクリックしてください。
参考	補足説明や操作の参考となる情報です。	**参考**：トナーコンテナの交換は、プリンタの電源を入れたまま行えます。
重要	トラブルを防止するために、必ず守っていただきたい事項や禁止事項です。	**重要**：本機にインクジェットプリンタ用の用紙を使用しないでください。故障の原因になります。

目次

1　用紙について

この章では次の内容について説明します。

重要：本機にインクジェットプリンタ用の用紙を使用しないでください。故障の原因になります。

用紙の基本仕様

本機は、ページプリンタおよび乾式複写機用のコピー用紙（普通紙）に印刷できるように設計してありますが、本章の制限の範囲内で様々な用紙に印刷できます。

プリンタに適さない用紙を使用すると、紙づまりになったり紙にシワがよったりするので、用紙の選択は慎重に行ってください。

重要：再生紙は 1-2 ページの**用紙の基本仕様**のうち、保水度やパルプ含有率などの基本条件が本機に使用するために必要な仕様を満たさないものがあります。このため、再生紙は少量をご購入になってサンプル印刷を行ってください。印刷結果が良好で、紙粉が極端に多くないものを選んでご使用ください。

規格に合わない用紙を使用して生じた問題については、当社は責任を負いかねます。

使用できる用紙

通常のページプリンタまたは乾式複写機用のコピー用紙（普通紙）を使用してください。

用紙の品質は、プリンタの印刷品質にも影響を与えます。質の悪い用紙を使うと満足のできる結果が得られません。

用紙の基本仕様

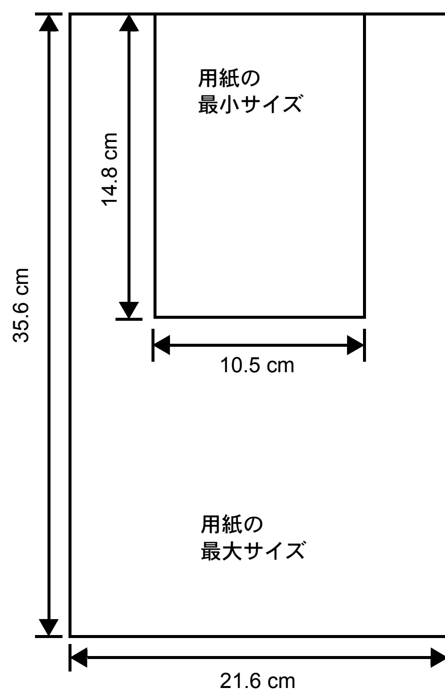
次の表は、本機で使用できる用紙の基本的な仕様です。詳細は以降のページで説明します。

項目	仕様
重さ	給紙カセット : 60 ～ 120 g/m² 手差しトレイ : 60 ～ 220 g/m²
厚さ	0.086 ～ 0.110 mm
寸法	1-4 ページの**用紙サイズ**を参照してください。
寸法誤差	±0.7 mm
四隅の角度	90 ±0.2 °
保水度	4 ～ 6 %
繊維の方向	縦目（給紙方向）
パルプ含有率	80 % 以上

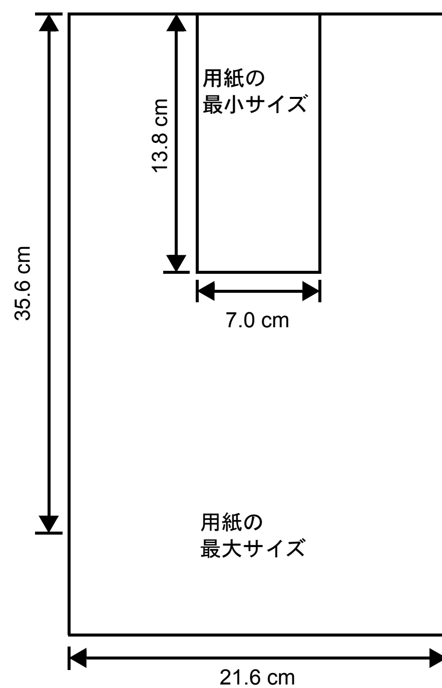
用紙の最大サイズと最小サイズ

用紙の最大サイズと最小サイズは次のとおりです。また、OHP フィルム、ラベル用紙、薄い用紙、はがき、封筒、コート紙、厚紙に印刷する場合、手差しトレイから給紙してください。

給紙カセット



手差しトレイ



適正な用紙の選択

ここでは、用紙を選ぶ際のガイドラインについて説明します。

ガイドライン

紙の状態

角の折れているもの、全体が丸まっているもの、汚れているもの、破れているもの、または繊維が毛羽立っていたり、表面が粗かったり、ちぎれやすい用紙は避けてください。このような用紙を使用すると仕上がりが悪くなるだけでなく、用紙送りがうまくいかないために紙づまりを起こし、プリンタの寿命を縮めることになりかねません。用紙表面が滑らかで均一なものを選んでください。

用紙の成分

アート紙のようなコーティング加工された用紙や、表面処理された用紙、プラスチックやカーボンを含む用紙は使用しないでください。そのような用紙は、熱により有害なガスを発生することがあり、またドラムを傷めます。

普通紙は、少なくとも 80 % 以上のパルプを含むものにしてください。コットンやその他の繊維が用紙成分の 20 % を超えないものをご使用ください。

用紙サイズ

次の表に記載したサイズの用紙が給紙カセット（本体）または手差しトレイで使用できます。詳細およびペーパーフィーダ（オプション：PF-500、PF-510）の用紙サイズについては、2-29 ページの**「カセット（1 ～ 4）ヨウシサイズ」（給紙カセットの用紙サイズの設定）**を参照してください。

寸法誤差の許容範囲は縦横ともに ±0.7 mm です。用紙四隅の角度は、90 ° ±0.2　のものを使用してください。

手差しトレイのみ	サイズ	給紙カセット（本体） または手差しトレイ	サイズ
Envelope Monarch	3-7/8 × 7-1/2 インチ	Legal	8-1/2 × 14 インチ
Envelope #10	4-1/8 × 9-1/2 インチ	Letter	8-1/2 × 11 インチ
Envelope #9	3-7/8 × 8-7/8 インチ	Executive	7-1/4 × 10-1/2 インチ
Envelope #6	3-5/8 × 6-1/2 インチ	Folio	21 × 33 センチ
Envelope DL	11 × 22 センチ	Envelope C5	16.2 × 22.9 センチ
JIS B6	12.8 × 18.2 センチ	ISO A6	10.5× 14.8 センチ
はがき	10 × 14.8 センチ	ISO B5	17.6 × 25 センチ
往復はがき	14.8 × 20 センチ	ISO A4	21 × 29.7 センチ
洋形 2 号	11.4 × 16.2 センチ	ISO A5	14.8 × 21 センチ
洋形 4 号	10.5 × 23.5 センチ	JIS B5	18.2 × 25.7 センチ
		Oficio II	8-1/2 × 13 インチ
		16K	19.7 × 27.3 センチ
		Statement	5-1/2 × 8-1/2 インチ
Custom	給紙カセット : 10.5 × 14.8 ～ 21.6 × 35.6 センチ 手差しトレイ : 7.0 × 13.8 ～ 21.6 × 35.6 センチ		

用紙の特性

滑らかさ

用紙表面は滑らかで均一であることが重要ですが、コーティングされているものは使用しないでください。滑らか過ぎる用紙を使うと、同時に複数枚の用紙が送られて、紙づまりの原因になります。

基本重量

基本重量とは、用紙 1 枚を 1 m² の大きさに換算した時の重量です。重すぎたり軽すぎたりする用紙は、用紙送りの失敗や紙づまりの原因となるばかりでなく、プリンタの消耗の原因にもなります。用紙の重さ、つまり紙の厚さが一定していないと、同時に複数枚の用紙を給紙してしまったり、トナーの定着不良によって印刷がぼやけるなどの印刷品質の問題を引き起こすことがあります。

用紙の適正な重さは給紙カセットで 60 ～ 90 g/m²、手差しトレイで 60 ～ 200 g/m² の範囲です。

厚さ

ページプリンタで使用する用紙は極端に厚いものや、または薄いものは避けてください。同時に複数枚の用紙が給紙されたり、紙づまりが頻繁に起きたりする場合は紙が薄すぎることが考えられます。反対に紙が厚すぎる場合も、紙づまりが起こることがあります。適正な用紙の厚さは 0.086 ～ 0.110 mm の範囲です。

保水度

用紙の保水度は、乾燥度に対する湿り気のパーセントで表されます。湿り気は紙送りや静電気の発生状況、トナーの定着性、定着後のカールなどに影響を与えます。

用紙の保水度は室内の湿度によって変わります。室内の湿度が高すぎて紙が湿り気を帯びると、紙の端が伸びて波打つことがあります。逆に湿度が低すぎて紙に極端に湿り気がなくなると、用紙の端が縮んでかさかさになり、コントラストの弱い印刷になります。

波打ったり乾燥していると、紙送りにずれが起きることがあります。用紙の保水度は 4 ～ 6 % の範囲に収まるようにしてください。

保水度を正しいレベルで維持するために、次の点に留意してください。

- 風通しのよい低湿の場所に保管してください。
- 未開封のまま水平な状態で保管してください。開封後すぐ使用しない紙は、もう一度密封してください。
- 用紙は購入時の箱や梱包紙に封をして保管してください。箱の下には台などを置いて、床から離してください。特に梅雨時の板張りやコンクリート張りの床からは十分離してください。
- 長時間放置した用紙は、少なくとも 48 時間は正しいレベルの保水度を満たしてからご使用ください。
- 熱、日光、湿気にさらされる場所に紙を放置しないでください。

参考：コート紙を使用する場合、湿度の高い環境では複数の用紙が貼り付くことがあります。

繊維の方向

用紙が製造されるとき、用紙の長さに対して紙の繊維が垂直（縦目）になるようにカットされているものと、用紙の幅に対して繊維が垂直（横目）になるようにカットされているものがあります。横目の用紙はプリンタの給紙時に問題を起こす原因になりますので、用紙は縦目のものをお使いください。

その他の仕様

多孔性

紙の繊維の密度を表します。

硬さ

柔らかすぎる紙は、プリンタ内部で折れ曲がりやすく紙づまりの原因になります。

カール

ほとんどの用紙は、開封した状態で放置しておくとどちらかの方向へ自然にカールして丸まる性質を持っています。

静電気

トナーを付着させるために、印刷の過程で用紙は静電気を帯びます。この静電気がすみやかに放電される用紙を選んでください。

用紙の白さ

印刷されたページのコントラストは使用した用紙の白さによって変わります。より白い用紙を使用したほうがシャープで鮮明な印刷がえられます。

品質について

サイズの不揃い、角がきちんととれていない、粗雑な裁断面、切りそこなってつながっている用紙、角や端のつぶれなどが原因でプリンタが正しく機能しないことがあります。特にご自分で裁断された用紙を使用する場合はご注意ください。

梱包について

きちんと梱包され、さらに箱に詰められている紙をお選びください。梱包紙は内面が防湿用にコーティングされているものが最良です。

参考：湿気を帯びた用紙を使用すると、上トレイ付近から湯気が出る場合がありますが、そのまま印刷を続けても問題はありません。

特殊処理

次のような処理をほどこした用紙については、基本仕様を満たす用紙であっても使用しないようお勧めします。使用される場合は、多くの量を購入される前にサンプル印刷を行ってください。

- つやのある用紙
- 透かしの入った用紙
- 表面に凹凸のある用紙
- ミシン目の入った用紙

特殊な用紙

ここでは、普通紙以外の特殊な用紙に印刷する場合について説明します。

本機には、次のような特殊な用紙を使用できます。次にしたがって用紙種類を設定してください。

用紙	用紙種類設定
薄い用紙（60 〜 64 g/m²）	ウスガミ
厚い用紙（105 〜 220 g/m²）	アツガミ
OHP フィルム	OHP フィルム
はがき	ハガキ
封筒	フウトウ
ラベル用紙	ラベルシ
再生紙	サイセイシ
カラー紙	カラーシ
プレ印刷用紙	プレプリント
ボンド紙	ボンドシ
レターヘッド	レターヘッド
パンチ済み用紙	パンチズミシ
上質紙	ジョウシツシ
加工紙（コート紙、その他の加工紙）	カコウシ
カスタム	カスタム（1 〜 8）

以上の用紙を使用するときはコピー用またはページプリンタ用として指定されているものをお使いください。また、カラー紙と再生紙以外は手差しトレイから給紙してください。詳細については、2-37 ページの**「キュウシモト」（給紙元の選択）**を参照してください。

特殊な用紙の選択

特殊用紙は次ページ以降で示す条件を満たすものであれば本機で使用することが可能ですが、これらの用紙は構造および品質に大きなばらつきがあるために、規定紙よりも印刷中に問題が発生する可能性が高くなります。特殊用紙はサンプル用紙をプリンタで印刷してみて、満足のいく仕上がりとなるかを確認してからご購入ください。主な特殊紙について、印刷時の注意について次ページより説明します。印刷中に、湿気などが特殊紙に与える影響が原因で、機械または操作員に被害が生じても当社は一切の責任を負いかねます。

OHP フィルム

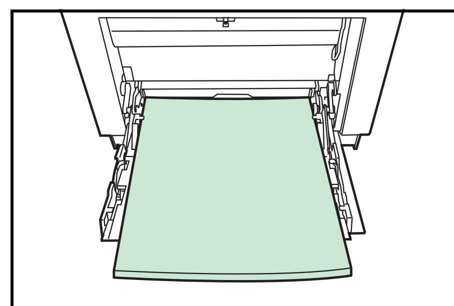
OHP フィルムは、印刷中の定着熱に耐えるものである必要があります。次の製品をお勧めします。

3M CG3700（Letter, A4）

次の表は、本機で使用できる OHP フィルムの条件です。

項目	仕様
耐熱性	最低 190 ℃までの熱に耐えること。
厚さ	0.100 〜 0.110 mm
材質	ポリエステル
サイズ誤差許容範囲	±0.7 mm
四隅の角度	90° ±0.2

トラブルを避けるために、OHP フィルムは手差しトレイから 1 枚ずつ給紙してください。その際、必ず縦に（用紙の長手方向をプリンタに向けて）セットしてください。また、OHP フィルムの裁断面にバリがある場合、給紙不良の原因になります。バリを取り除くか、表裏を逆にする、あるいは前後を入れ替えてセットしてください。



OHP フィルムが頻繁に紙づまりを起こす場合は、排紙される際に OHP フィルムの先を引いてください。

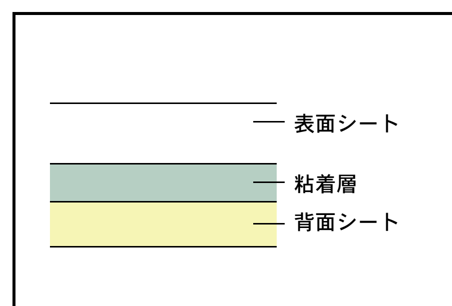
ラベル用紙

ラベル用紙は、必ず手差しトレイから給紙してください。

ラベル用紙を選択する際は、糊がプリンタのどこにも触れないことや、ラベルが台紙から容易にはがれないことなどに注意してください。転写ベルトやローラ類に糊が付着したり、はがれたラベルがプリンタ内に残ると故障の原因になります。

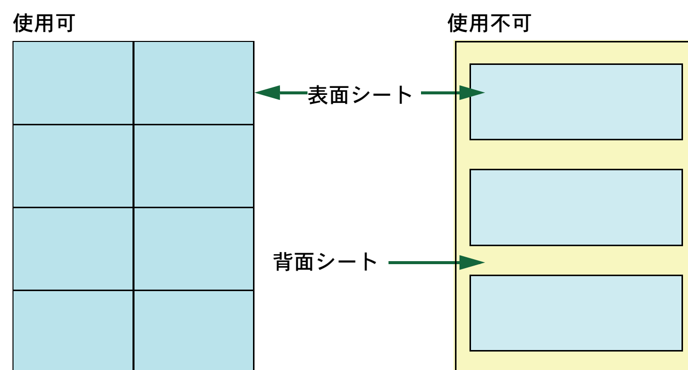
参考：ラベル用紙での印刷の場合は、その印刷品質やトラブル発生の可能性などについては、お客様ご自身の責任で行ってください。

ラベル用紙は、図のような 3 層からなる構造をしています。粘着層はプリンタ内部で加わる力による影響を受けやすい素材でできています。背面シートはラベルが使用されるまで表面シートを保持しています。このように構造が複雑なため、ラベル用紙はトラブルが発生しがちです。



ラベル用紙の表面は、表面シートで隙間なく完全に覆われていなくてはなりません。ラベルの間に隙間のあるものはラベルがはがれやすく、大きな故障の原因となります。

ラベル用紙には、用紙の端を完全に覆うため、表面シートに広いマージンを設けているものがあります。このような用紙をお使いの場合、印刷が終了するまで、このマージン部分を背面シートからはがさないでください。



次の仕様に合ったラベル用紙を選んでください。

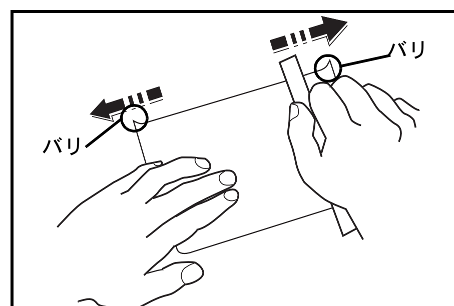
項目	仕様
表面シートの重さ	44 ～ 74 g/m²
基本重量（用紙全体の重さ）	104 ～ 151 g/m²
表面シートの厚さ	0.086 ～ 0.107 mm
用紙全体の厚さ	0.115 ～ 0.145 mm
保水度	4 ～ 6 %（混合）

はがき

はがきは、さばいて端を揃えてから、手差しトレイにセットしてください。はがきに反りがある場合は、まっすぐに直してからセットしてください。反りがあるまま印刷を行うと、紙づまりの原因になります。

往復はがきに印刷する場合は、折り目のないものを使用してください。

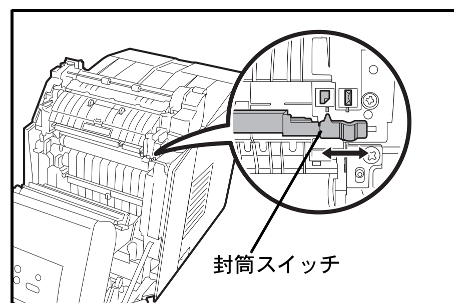
また、はがきによっては、裏面にバリ（紙を裁断した際にできる返し）があるものがあります。その場合は、はがきを平らなところに置き、定規のようなもので軽く 1 ～ 2 回こするようにして、バリを取り除いてください。



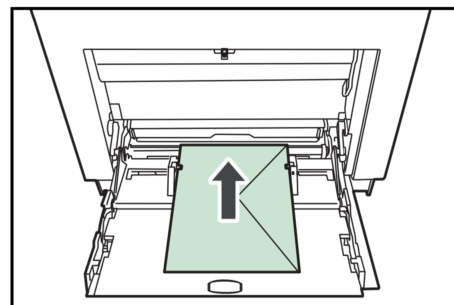
封筒

封筒スイッチをスライドさせ、封筒モードに設定してから印刷してください

注意：普通紙モード設定時に、封筒は印刷できません。また、封筒モード設定時に普通紙を印刷した場合、印刷速度および印字品質が低下します。



封筒は印刷面を下にして、必ず手差しトレイから給紙してください



封筒は構造上、表面全体に均一な印刷ができない場合があります。特に薄手の封筒の場合は、プリンタを通り抜ける間にシワになることがあります。封筒を購入する前に、その封筒での印刷が満足いくものであるかをサンプル印刷で確認してください。封筒は長時間放置しておくとシワが発生することがあります。使用する直前に開封してください。

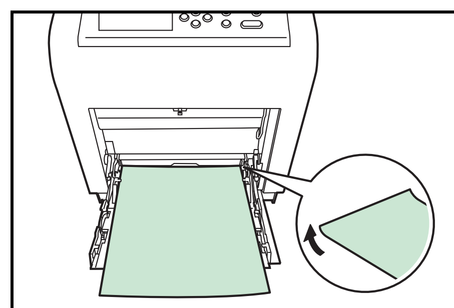
さらに、次の点に留意してください。

- 糊が露出している封筒はどのような封筒でも使用できません。たとえ露出していなくても、紙をはがすと糊が現れるワンタッチ式のタイプもご使用になれません。糊をカバーしている小さな台紙が、プリンタ内部ではがれ落ちると大きな故障の原因となります。
- 封筒に特殊加工のあるタイプも使用できません。紐を巻き付ける丸い鳩目の打ってあるものや、窓の開いているもの、窓部にフィルム加工がされているものなどは使用できません。
- 紙づまりが起きる場合は、一度にセットする封筒の枚数を少なくしてみてください。
- 複数の封筒を印刷する際は、紙づまりを避けるため上トレイに 10 枚以上残らないようご注意ください。

厚い用紙

厚い用紙はさばいて端を揃えてから、手差しトレイにセットしてください。用紙によっては、裏面にバリ（紙を裁断した際にできる返し）があるものがあります。その場合は用紙を平らなところに置き、1-10 ページの**はがき**と同様に定規のようなもので軽く 1 ～ 2 回こするようにして、バリを取り除いてください。バリのあるまま印刷を行うと紙づまりの原因になります。

参考：バリを取り除いても給紙されない場合は、図のように用紙の先端を数 mm 上にそらせてから手差しトレイにセットしてください。



カラー紙

カラー紙は1-2 ページの**用紙の基本仕様**を満たすものでなければなりません。さらに、用紙に含まれている色素は印刷中の熱（最高 200 ℃）に耐えるものでなければなりません。

プレ印刷用紙

印刷済み用紙は 1-2 ページの**用紙の基本仕様**を満たすものでなければなりません。着色に使われているインクはプリンタでの印刷中の熱に耐えられるもので、シリコンオイルの影響を受けないものであることが必要です。カレンダーなどに使われる表面加工を施してある紙は使用しないでください。

再生紙

再生紙は、用紙の白さ以外の項目が 1-2 ページの**用紙の基本仕様**を満たすものでなければなりません。

参考：再生紙を購入する前に、印刷が満足いくものであるかをサンプル印刷で確認してください。

コート紙

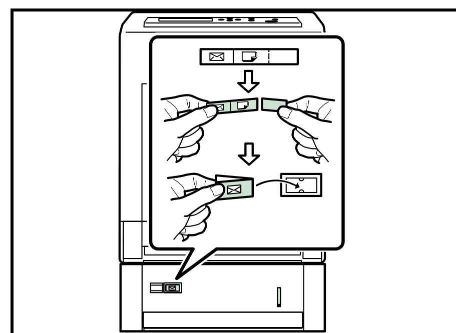
コート紙は、原紙の表面をコーティングすることによって、普通紙よりもよい印刷品質を得ることができる用紙です。高品位の印刷用紙として利用されています。

上質紙あるいは中質紙の表面に特殊な薬品を塗布し、表面を滑らかにすることによって、インクの乗りをよくしています。薬品を塗布する面は表裏両面の場合もあれば、片面のみの場合もあります。塗布された面は少し光沢が出ます。

注意：コート紙を湿度の高い環境で印刷すると、重なって給紙されることがありますので、高湿度にならないようにしてください。

用紙種類表示シート（オプション、ペーパーフィーダ＜ PF-510 ＞）

オプションのペーパフィーダ（PF-510）で特殊な用紙を使用する場合、付属シートの白紙を切り取り 2 つに折った後、使用する用紙を表にしてカセットのフォルダに差し込んでください。



：封筒を使用するとき

：厚紙を使用するとき

：ラベル紙を使用するとき

：コート紙を使用するとき

2　操作パネル

この章では、操作パネルの使用方法を説明します。操作パネルでの設定は、お使いの環境に合わせた初期設定を行うときに使用します。通常は、アプリケーションソフトからのプリンタドライバによる設定が優先されます。

プリンタの各種設定は、操作パネルやプリンタドライバの他に京セラミタプリントモニタなど他のユーティリティを使用することにより、リモートで行うことも可能です。プリンタユーティリティは、プリンタ付属の CD-ROM からインストールできます。

メッセージディスプレイ

メッセージディスプレイには、プリンタの各種動作状態を示すメッセージが表示されます。

ステータス情報

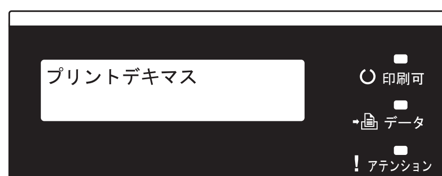
次のメッセージは、通常使用時の状態（ステータス）を表示するメッセージです。

メッセージ表示	意味
Self test	電源投入後のプリンタの自己診断中です。
シバラク オマチクダサイ	プリンタはウォーミングアップ中です。印刷はできません。最初にプリンタの電源を入れた際は、このメッセージがしばらく表示されます。
シバラク オマチクダサイ（カセット ジュンビチュウ）	オプションのペーパーフィーダ（PF-510）で、コート紙（**カコウシ**）の印刷準備中に表示されます。
シバラク オマチクダサイ（トナー ホキュウチュウ）	トナーの補給中です。写真など多くのトナーを消費するデータを連続して印刷すると、このメッセージが表示されることがあります。
シバラク オマチクダサイ（カラー チョウセイ チュウ）	自動キャリブレーションシステムにより、カラーを調整中です。操作パネルからこの機能を実行するには、2-86 ページの**「カラー チョウセイ ノ ジッコウ」（カラー調整）**を参照してください。
シバラク オマチクダサイ（セイソウチュウ）	清掃中です。メインチャージャを清掃中に表示されます。
シバラク オマチクダサイ（レイキャクチュウ）	冷却中です。
プリント デキマス	印刷できます。
データ ショリチュウデス	プリンタは印刷中か、データ処理中です。または、USB メモリ、メモリカードやハードディスクのデータを読み込んでいます。
タイキチュウ	プリンタはスリープモード（省電力モード）です。印刷データを受信すると、スリープモードから復帰し、ウォーミングアップ後に印刷できる状態になります。 プリンタがスリープモードへ移行するまでの時間は、2-64 ページの**「オートスリープ」（オートスリープの設定）**を参照してください。
データ キャンセルチュウ	印刷データをキャンセルしています。印刷データのキャンセルの方法は、2-4 ページの**キー**を参照してください。

エラーコード

メッセージディスプレイには、障害が発生した場合のエラーコードも表示されます。エラーコードについては、**使用説明書 4 困ったときは**を参照してください。

メッセージディスプレイ内の表示



インジケータの表示

インジケータとその意味を説明します。

表示	表示	
印刷可	**点滅：**	解除可能なエラーが発生しています。**使用説明書 4 困ったときは（エラーメッセージ）**を参照してエラーの処理をしてください。
	点灯：	プリンタはオンライン状態です。受信した印刷データは印刷されます。
	消灯：	プリンタはオフライン状態です。印刷データの受信は可能です。**使用説明書 4 困ったときは（エラーメッセージ）**を参照してください。
データ	**点滅：**	プリンタは印刷データを受信しています。
	点灯：	印刷処理中、またはハードディスクやメモリカードにデータをアクセス中です。
アテンション	**点滅：**	**「シバラク オマチクダサイ」**が表示されている場合、プリンタは準備中です。 その他は保守作業が必要です。メッセージディスプレイの表示を確認して必要な処理を行ってください。詳しくは、**使用説明書 4 困ったときは（エラーメッセージ）**を参照してください。
	点灯：	給紙カセット内の用紙がないなどの理由で印刷できません。メッセージディスプレイの表示を確認して必要な処置を行ってください。

キー

各キーの機能は次のとおりです。複数の機能を持っています。

印刷可 / 解除キー



- 特定のエラー解除を行います。
- 「スリープ」、「低電力モード」からの復帰を行います。

キャンセルキー



- 実行中の印刷を中止します。
- ブザーが鳴ったときに、ブザーを止めます。
- 入力した数値をリセットしたり、設定を途中で中止します。

印刷のキャンセルのしかた

1 メッセージディスプレイに**「データ ショリチュウデス」**が表示されていることを確認して、[**キャンセル**] キーを押します。

「インサツ ノ キャンセル？」が表示され、現在のジョブ名が表示されます。

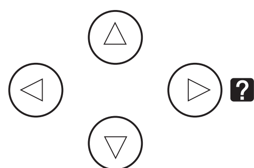
2 [△] または [▽] キーで中止したいジョブ名を選択して、[**実行**] キーを押してください。メッセージディスプレイに**「データ キャンセルチュウ」**が表示され、現在印刷中のページが出力された後、印刷を中止します。

メニューキー



- モード選択メニューからプリンタの初期設定を変更するときや設定を終了するときに押します。

矢印キー



- 目的のメニューを表示させるときや、設定値の変更を行うときに使用します。[△] [▽] キーでメニューを切り換えて、[◁] [▷] キーでサブメニューに移ります。
- 紙づまりなどが発生したときに [?] キーを押すと、メッセージディスプレイにオンラインヘルプメッセージを表示します。オンラインヘルプを中止するときは、もう一度押します。
- メッセージディスプレイに**「ダイヨウ キュウシ シマスカ？」**が表示された際に、[△] [▽] キーで代用する給紙元を選択します。

実行キー



- モード選択メニューで設定した内容を確定します。
- メッセージディスプレイに**「ダイヨウ キュウシ シマスカ？」**が表示された際に、給紙元を確定します。

操作パネルの使いかた

ここでは、モード選択メニューについて説明します。

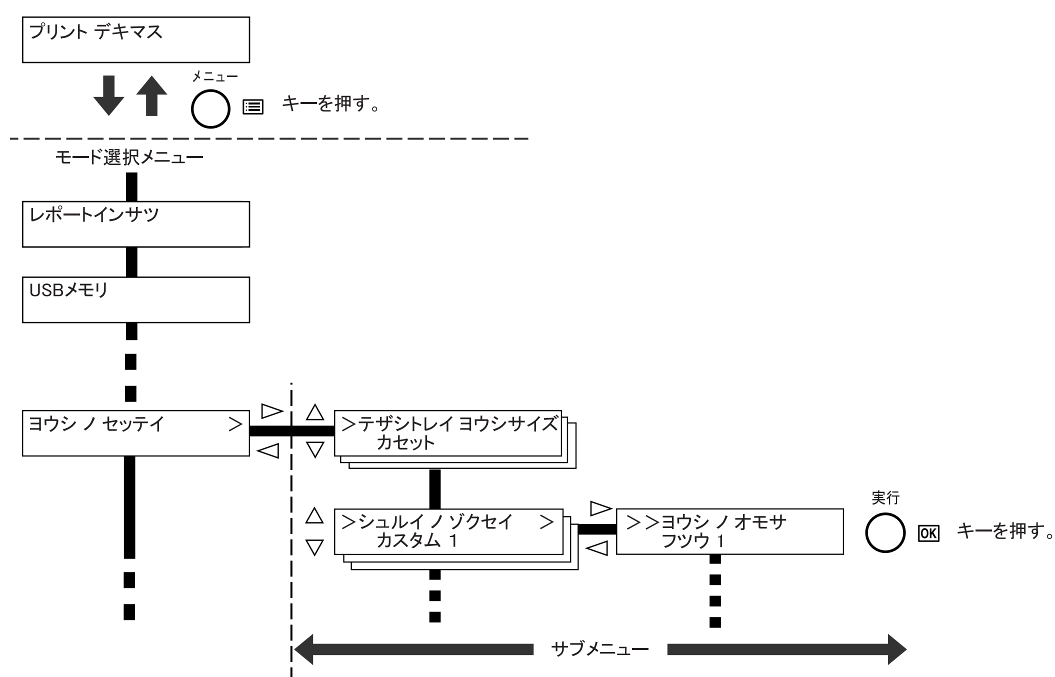
操作パネルの［**メニュー**］キーを使って、印刷ページ数やエミュレーションなどプリンタの環境を設定、変更できます。各設定はプリンタのメッセージディスプレイが「**プリント デキマス**」表示のときに行えます。

メニュー選択の基本操作

モード選択メニューへの入りかた

プリンタが「**プリント デキマス**」表示状態のときに［**メニュー**］キーを押してください。

モード選択メニューが表示されます。

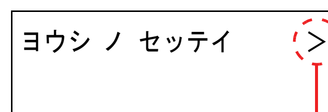


注意：選択メニューの「**ジョブボックス**」は、ハードディスク装着もしくは RAM ディスク設定時に表示されます。詳しくは、2-18 ページの「**ジョブボックス**」（**Job Box の選択**）もしくは、2-56 ページの「**RAM ディスクモード**」（**RAM ディスクの操作**）を参照してください。

メニューの選択

モード選択メニューは階層構造（ツリー構造）をしています。［△］または［▽］キーを押して、目的のメニューを表示させます。

- 選択したメニューにサブメニューがある場合は、メニュー名に続いて「＞」が表示されます。

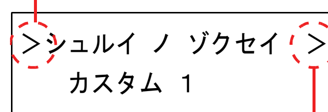


サブメニューがあることを示しています。

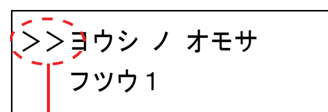
- サブメニュー名の前には「＞」が表示されます。

  さらにサブメニューがある場合は、サブメニュー名に続いて「＞」が表示されます。
  さらに下の階層へ移動するときは［▷］を押してください。
  上の階層に戻るときは［◁］を押してください。
  2 階層目のサブメニュー名の前には「＞＞」が表示されます。

サブメニューであることを示しています。



さらにサブメニューがあることを示しています。



2 階層目のサブメニューであることを示しています。

メニューの設定

目的のメニューを選択してから［**実行**］キーを押してください。そのメニューの設定操作に入りますので、［△］または［▽］キーを押して希望の表示を選択し、［**実行**］キーを押して確定してください。

メニュー操作の中断

メニュー操作中に［**メニュー**］キーを押すと、「**プリント デキマス**」表示状態に戻ります。

参考：操作パネルの設定よりも、アプリケーションやプリンタドライバからの設定が優先されます。

モード選択メニューの設定方法

ここではモード選択メニューから行う設定手順について、各メニューごとに説明します。

1 **「プリントデキマス」**、**「シバラク オマチクダサイ」**、**「タイキチュウ」**、**「データ ショリチュウデス」**と表示されているときに［**メニュー**］キーを押すと、モード選択メニューが表示されます。（例：「レポート インサツ」）

レポート インサツ　　　>

2 ［△］または［▽］キーを押すと、以下のモード選択メニューが循環して表示されます。

- **「レポート インサツ」**（レポート印刷の選択）
- **「USB メモリ」**（USB メモリの選択）
- **「ジョブボックス」**（Job Box の選択）
- **「カウンタ」**（カウンタ値の選択）
- **「ヨウシ ノ セッテイ」**（用紙の設定）
- **「インサツセッテイ」**（印刷の設定）
- **「ネットワーク」**（ネットワークの設定）
- **「デバイスゼンパン」**（デバイス全般の選択・設定）
- **「セキュリティ」**（セキュリティの設定）
- **「ブモンカンリ」**（部門管理の選択・設定）
- **「カンリシャ」**（管理者の設定）
- **「チョウセイ / メンテナンス」**（調整／メンテナンスの選択・設定）

参考：電源を入れ最初のモード選択をした場合、**「レポート インサツ」**が表示されます。2 回目以降は、前回最後に選択されたメニューが表示されます。

「レポートインサツ」(レポート印刷の選択)

レポートの印刷をします。レポート印刷には以下の項目があります。

- 「メニューマップ ノ インサツ」(メニューマップの印刷)
- 「ステータスページ ノ インサツ」(ステータスページの印刷)
- 「フォントサンプルノ インサツ」(フォントサンプルの印刷)
- 「ハードディスク ファイル リスト ノ インサツ」(ハードディスク・ファイルリストの印刷)
- 「RAM ディスク ファイル リスト ノ インサツ」(RAM ディスク・ファイルリストの印刷)
- 「メモリカード ファイル リスト ノ インサツ」(メモリカード・ファイルリストの印刷)

1 [メニュー] キーを押してください。

2 「レポート インサツ＞」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

```
レポート インサツ        ＞
```

メッセージディスプレイの表示と同じように、オプションの機器の装着状態によって内容が変わります。

「メニューマップ ノ インサツ」(メニューマップの印刷)

モード選択メニューで表示されるすべてのメニューを印刷します。

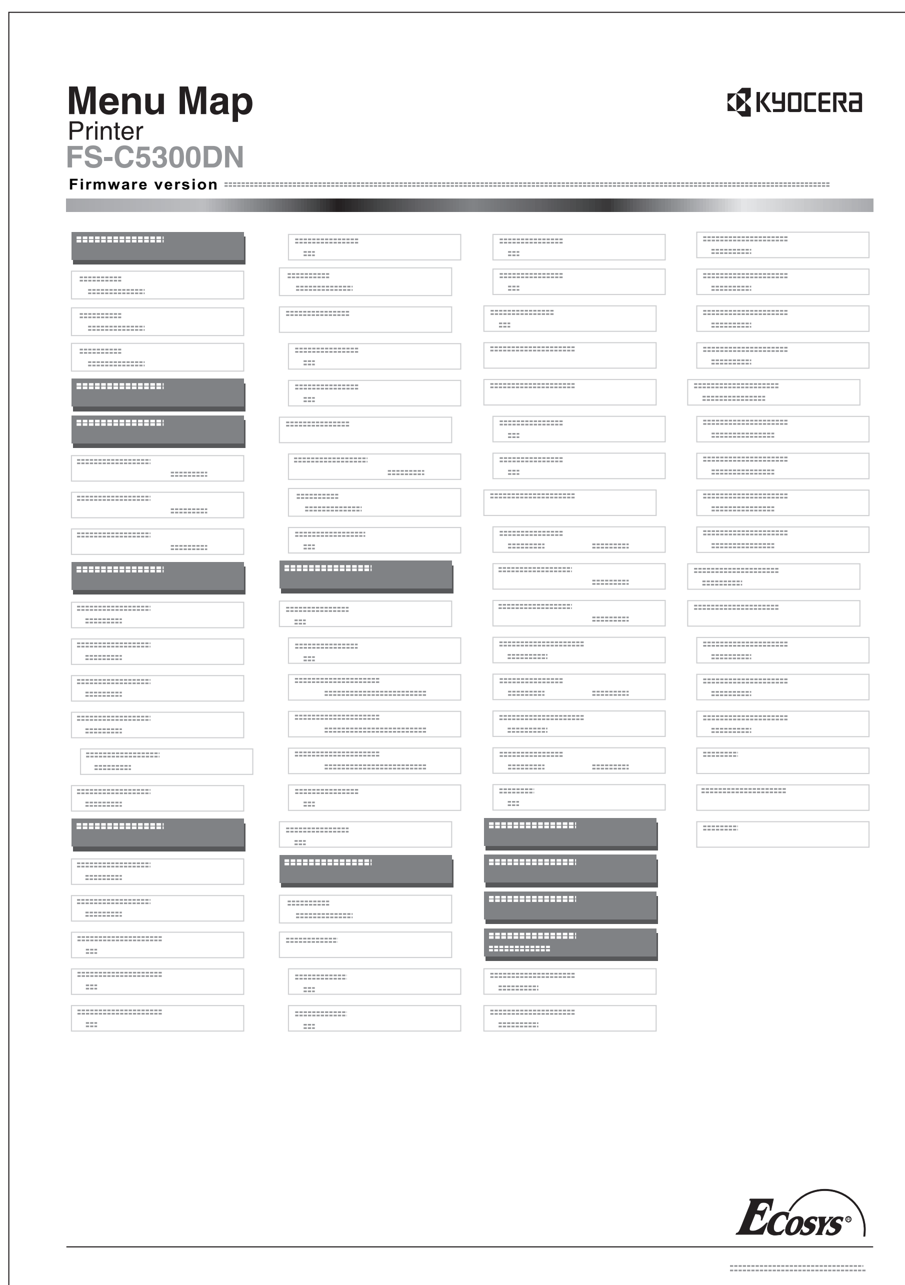
1 「レポート インサツ」表示中に、[▷] キーを押してください。

2 「＞メニューマップ ノ インサツ」が表示されます。他の表示の場合、表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

3 [実行] キーを押してください。「?」が表示されます。

```
＞メニューマップノ
 インサツ ?
```

4 [実行] キーを押してください。「データ ショリチュウデス」が表示され、メニューマップを印刷します。



「ステータスページノ インサツ」（ステータスページの印刷）

ステータスページを印刷して、プリンタの現在の設定状況、装着しているオプション機器などの情報を確認できます。

1 「レポート インサツ」表示中に、[▷] キーを押してください。

2 「>ステータスページ ノ インサツ」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

3 ［実行］キーを押すと、「**？**」が表示されます。

```
>ステータスページ ノ
 インサツ?
```

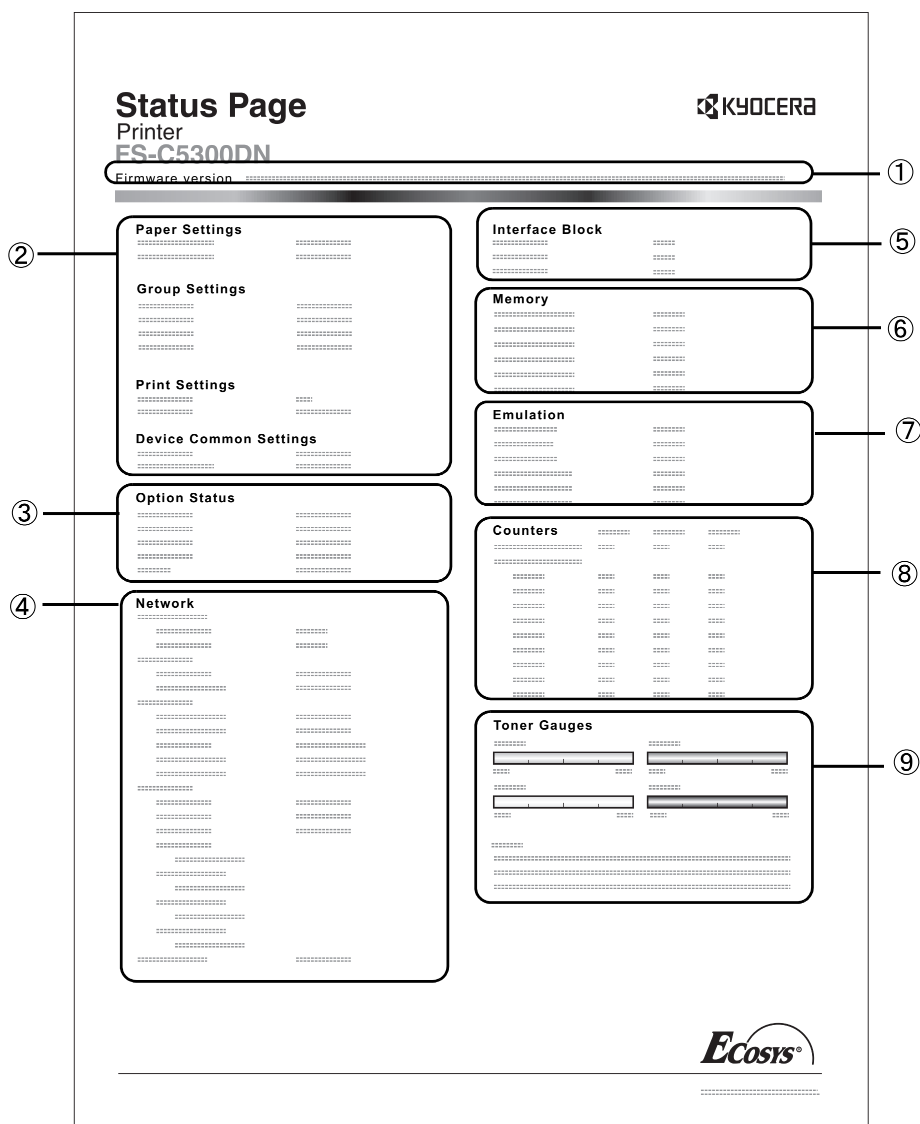
4 もう一度、［実行］キーを押すと、「**データ ショリチュウデス**」が表示され、ステータスページを印刷します。

ステータスページに記載されている各項目の説明は、次の**ステータスページの内容**を参照してください。

ステータスページの内容

次はステータスページの印刷例です。各項目については次ページに説明があります。

参考：プリンタのファームウェアのバージョンにより、ステータスページに印刷される項目や値が異なる場合があります。



① ファームウェア（Firmware Version）

ファームウェアのバージョンと発行日です。

② プリンタ設定状況（Paper Settings、Group Settings、Print Settings、Device Common Settings）

カセットにセットされている用紙サイズと用紙種類、プリンタの主な設定項目についての情報を表示します。

③ 装着オプション（Option Status）

プリンタに装着されている、オプション機器の状態を表示します。

④ ネットワークステータス（Network）

ネットワーク関係の設定状態を表示します。TCP/IP欄には、IPアドレス、サブネットマスクアドレス、デフォルトゲートウェイアドレスを表示します。

⑤ インタフェース（Interface Block）

プリンタに装着されているすべてのインタフェースと、それぞれのインタフェースに設定されているフォントおよびエミュレーションを表示します。

⑥ メモリ使用状況（Memory）

プリンタに装着されている総メモリ、および現在のRAMディスクの状態が表示されます。

⑦ エミュレーション（Emulation）

設定できる全エミュレーションを表示します。出荷時にはPCL 6エミュレーションに設定されています。

⑧ ページ情報（Counters）

現在の解像度、設定印刷ページ数、総印刷ページ数を表示します。

⑨ 消耗品（Toner Gauges）

トナーコンテナ各色の、およそのトナー残量を表示します。100から0に近づくほどトナーの残量が少なくなります。

「フォントサンプル ノ インサツ」（フォントサンプルの印刷）

フォント選択の目安となる、フォントリストを印刷できます。

1 「レポート インサツ」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「＞フォント サンプル ノ インサツ」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［実行］キーを押してください。「？」が表示されます。

```
>フォント サンプル ノ
 インサツ ?
```

4 ［実行］キーを押してください。「データ ショリチュウデス」が表示され、フォントサンプルを印刷します。

「ハードディスク ファイル リスト ノ インサツ」（ハードディスク・ファイルリストの印刷）

ハードディスク内にあるファイルのリストを印刷できます。

注意：ハードディスクが装着され、正しくフォーマットされている場合のみ表示されます。

---

1 「レポート インサツ」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「＞ハードディスク ファイル リスト ノ インサツ」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［実行］キーを押してください。「？」が表示されます。

```
>ハードディスク ファイル
 リスト ノ  インサツ ?
```

4 ［実行］キーを押してください。「データ ショリチュウデス」が表示され、ハードディスク・ファイルリストを印刷します。

「RAM ディスク ファイル リスト ノ インサツ」（RAM ディスク・ファイルリストの印刷）

RAM ディスク内にあるファイルのリストを印刷できます。

注意：RAM ディスクモードが ON のとき表示されます。

---

1 「レポート インサツ」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「＞ RAM ディスク ファイル リスト ノ インサツ」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［実行］キーを押してください。「？」が表示されます。

```
>RAMディスク ファイル
 リスト ノ  インサツ ?
```

4 ［実行］キーを押してください。「データ ショリチュウデス」が表示され、RAM ディスク・ファイルリストを印刷します。

「メモリカード ファイル リスト ノ インサツ」（メモリカード・ファイルリストの印刷）

メモリカード内にあるファイルのリストを印刷できます。

注意：メモリカード装着時に表示されます。

1 「**レポート インサツ**」表示中に、[▷] キーを押してください。

2 「**＞メモリカード ファイル リスト ノ インサツ**」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

3 [**実行**] キーを押してください。「**？**」が表示されます。

```
＞メモリカード ファイル
 リスト ノ  インサツ ？
```

4 [**実行**] キーを押してください。「**データ ショリチュウデス**」が表示され、メモリカード・ファイルリストを印刷します。

「USB メモリ」（USB メモリの選択）

USB メモリの取り外しやメモリ内の印刷設定をします。

注意：USB メモリが装着され、USB ホストのブロックが設定されていない場合のみ表示されます。

USB メモリの選択には以下の項目があります。

- **「ファイル ノ インサツ」**（USB メモリのファイルの印刷）
- **「コピー」**（ファイル印刷のコピー枚数の設定）
- **「キュウシモト」**（ファイル印刷の給紙元の選択）
- **「デバイス ノ トリハズシ」**（USB メモリの取り外し）
- **「ファイルリスト ノ インサツ」**（ファイルリストの印刷）

1 ［**メニュー**］キーを押してください。

2 「USB メモリ＞」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

```
USBメモリ              >
```

メッセージディスプレイの表示と同じように、オプションの機器の装着状態によって内容が変わります。

「ファイルノ インサツ」（USB メモリのファイルの印刷）

USB メモリ内にあるファイルの印刷設定ができます。

1 「USB メモリ」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「＞ファイル ノ インサツ」が表示されます。他の表示の場合、表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押してください。「**?**」が表示されます。もう一度、［**実行**］キーを押すと、フォルダもしくはファイルが表示されます。（例：フォルダ１）

```
/
  /00：フォルダ１
```

［△］または［▽］キーを押すと、フォルダもしくはファイルを循環して表示します。

下位のフォルダもしくはファイルがある場合、［▷］キーを押すと表示します。（例：フォルダ２）

```
/00：フォルダ１
  /00：フォルダ２
```

さらに、下位のファイルがある場合、［▷］キーを押すと表示します。（例：ファイル３）

```
/.../00：フォルダ２
   00：ファイル３
```

注意：「ファイル ノ インサツ」メニューは、USB メモリ内に PDF、TIFF、JPEG、XPS ファイルが入っている場合のみ表示されます。フォルダもしくはファイル表示は 3 階層までです。USB メモリの容量やファイル数によっては、表示に時間がかかる場合があります。

［△］または［▽］、［◁］または［▷］キーを押すことにより、フォルダの階層を移動できます。

4 ［**実行**］キーを押してください。「**？**」が表示されます。（例：ファイル 3）

```
/.../00 : フォルダ 2
? 00 : ファイル 3
```

5 ［**実行**］キーを押してください。「**コピー**」（ファイル印刷のコピー枚数の設定）が表示されます。

```
コピー
001
```

「コピー」（ファイル印刷のコピー枚数の設定）

USB メモリ内で指定したファイルの印刷部数を設定します。

1 上記手順 5 の「**コピー**」表示中に、［△］または［▽］、［◁］または［▷］キーを押して印刷部数を表示させてください。（例：10 部）

```
コピー
010
```

2 ［**実行**］キーを押してください。「**キュウシモト**」（ファイル印刷の給紙元の選択）と「**？**」が表示されます。

```
キュウシモト
? カセット 1
```

「キュウシモト」（ファイル印刷の給紙元の選択）

USB メモリ内で指定したファイルの印刷用紙を設定します。

1 上記手順 2 の「**キュウシモト**」表示中に、［△］または［▽］キーを押して給紙元を表示させてください。（例：カセット 2）

```
キュウシモト
? カセット 2
```

メッセージディスプレイの表示と同じように、オプションの機器の装着状態によって内容が変わります。

2 ［**実行**］キーを押してください。「**データ ショリチュウデス**」が表示され、USB メモリ内のファイルを印刷します。

「デバイス ノ トリハズシ」（USB メモリの取り外し）

USB メモリの取り外しを設定します。

1 「USB メモリ」表示中に、[▷] キーを押してください。

2 「>デバイスノ トリハズシ」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

3 [実行] キーを押してください。「?」が表示されます。

>デバイス ノ トリハズシ?

4 [実行] キーを押してください。メニューが終了し、USB メモリを取り外すことができます。

「ファイルリスト ノ インサツ」(ファイルリストの印刷)

USB メモリ内にあるファイルのリストを印刷できます。

1 「USB メモリ」表示中に、[▷] キーを押してください。

2 「>ファイル リスト ノ インサツ」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

3 [実行] キーを押してください。「?」が表示されます。

>ファイルリスト ノ インサツ ?

4 [実行] キーを押してください。「データ ショリチュウデス」が表示されファイルリストを印刷します。

「ジョブボックス」（Job Box の選択）

重要：Job Box を使用するには、ハードディスクをプリンタに装着する必要があります。

試し刷り後、保留モードとプライベートプリントモードは、RAM ディスクでも使用できます。

Job Box は、ジョブリテンション機能を実現する印刷機能です。設定はプリンタドライバより行います。プリンタドライバでの設定については、**KX プリンタドライバ操作手順書**を参照してください。

ジョブリテンション機能

ジョブリテンション機能は、プリンタのハードディスクに印刷データを保存し、必要なときに印刷できます。次の 4 種類のモードがあり、プリンタドライバから選択できます。

ジョブリテンション	クイックコピーモード	試し刷り後、保留モード	プライベートプリントモード	ジョブ保留モード
機能	プリンタの操作パネルから、必要部数を追加印刷できます。	複数部数の印刷の際、1 部だけ印刷出力します。印刷の内容を確認してから、残りを印刷します。キャンセルすることもできるので、用紙を節約できます。	他人に見られたくない文書などを、アクセスコードを入力してから印刷させることができます。	FAX 送信用紙などのフォームをプリンタに保存し、必要なとき必要なものを必要な枚数だけ印刷できます。
アプリケーションからの印刷終了時	同時に印刷する	同時に 1 部だけ印刷する	印刷しない	印刷しない
印刷出力操作	プリンタの操作パネルから行う	プリンタの操作パネルから行う	プリンタの操作パネルから行う	プリンタの操作パネルから行う
初期印刷部数	ドライバから設定した部数（変更可能）	試し刷り後の残り部数（変更可能）	ドライバから設定した部数（変更可能）	1（変更可能）
最大格納ジョブ数†	32（50 まで拡張可能）	32（50 まで拡張可能）	ハードディスク容量に依存（印刷すると、そのジョブは自動的に消去）	ハードディスクの容量に依存
アクセスコード	不要	不要	必要	任意
印刷後のデータ	保存	保存	消去	保存
電源オフ時のデータ	消去	消去	消去	保存
ハードディスク	必要	不要（RAM ディスクでも動作）	不要（RAM ディスクでも動作）	必要

† 設定された数を超えると、古いジョブから順に削除されます。

設定方法は 2-19 ページの「**クイックコピージョブ」（クイックコピーモード）**、2-20 ページの**試し刷り後、保留モード**、2-22 ページの「**コジン / ホゾンジョブ」（プライベートプリント / ジョブ保留モード）**を参照してください。

参考：プリンタドライバでの設定と印刷（保存）方法については、**KX プリンタドライバ操作手順書**を参照してください。

Job Box の選択には以下の項目があります。

- **クイックコピーモード / 試し刷り後、保留モード**

  「クイックコピージョブ （ユーザー名）」（ユーザー選択）
  「（ユーザー名） （データ名）」（データ選択）
  「（データ名）コピー （部数）」（コピー枚数 / 消去の選択）
- **プライベートプリント / ジョブ保留モード**

  「コジン / ホゾンジョブ （ユーザー名）」（ユーザー選択）
  「（ユーザー名） （データ名）」（データ選択）
  「（データ名）ID （部数）」（パスワード入力）
  「（データ名）コピー （部数）」（コピー枚数／消去の選択）
- **「ジョブボックス ショウサイセッテイ」**（Job Box の詳細設定）

1 ［**メニュー**］キーを押してください。

2 **「ジョブボックス ＞」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

```
ジョブボックス          >
```

メッセージディスプレイの表示と同じように、オプションの機器の装着状態によって内容が変わります。

「クイックコピージョブ」（クイックコピーモード）

このモードは、一度印刷した文書を追加印刷するモードです。

プリンタドライバでクイックコピーを設定して文書を印刷すると、同時にハードディスクに保存します。印刷が必要になったときに操作パネルから必要な枚数を再印刷できます。

ハードディスクに保存できる最大文書数は、初期設定で 32 個（**Job Box 詳細設定**で最大 50 個まで変更可能）です。設定を変えるときは、2-23 ページの**クイックコピージョブの最大登録可能数の設定**を参照してください。設定された最大数を越えて書類を保存すると、古いジョブから順に新しいジョブに上書きされます。

プリンタの電源を切ると、このモードで保存したジョブは消去されます。

クイックコピーを使った印刷のしかた

最初にクイックコピーモードでジョブの印刷を行います。設定手順は **KX ドライバ操作手順書**を参照してください。

1 **「ジョブボックス ＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「＞クイックコピージョブ」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。プリンタドライバに入力したユーザ名が表示されます。（例：ユーザー 1）

3 ［実行］キーを押すと、ユーザ名の前に「？」が点滅します。

```
>クイックコピージョブ
?ユーザー1
```

4 ［△］または［▽］キーを押して希望するユーザ名を表示させてください。

```
>クイックコピージョブ
?ユーザー1
```

5 ［実行］キーを押してください。ユーザ名の下に、文書名（ジョブ名）が表示され、文書名の前に「？」が点滅します。文書名は、プリンタドライバから入力します。（例：データ1）

```
>ユーザー1
?データ1
```

6 ［△］または［▽］キーを押して、希望する文書名を表示させてください。

7 ［実行］キーを押してください。印刷ページ数を増やす場合には［△］キーを、減らす場合には［▽］キーで印刷ページ数を変更できます。

```
>データ1
 コピー          001
```

8 ［実行］キーを押してください。設定したページ数を印刷します。

クイックコピー文書の削除

クイックコピーで保存されているジョブは、電源を切ると自動的に消去されますが、次の手順で個別に消去できます。

1 前の項目の1から6の手順を行ってください。

2 削除する文書名を表示させて、［実行］キーを押してください。印刷ページ数のカーソル（__）が点滅します。

```
>データ1
 コピー          001
```

3 印刷ページ数に「サクジョ」が表示されるまで［▽］キーを押してください。

```
>データ1
 サクジョ          _
```

4 ［実行］キーを押してください。「データ ショリチュウデス」が表示され、指定した文書が削除されます。

試し刷り後、保留モード

プリンタドライバで［試し刷り後、保留］を設定し、必要な部数を設定して印刷すると、プリンタは1部だけを出力し、文書データをハードディスクまたはRAMディスクに保存します。残りの部数を印刷するときは操作パネルから印刷します。その際、印刷ページ数を変更することもできます。

プリンタの電源を切ると、このモードで保存したジョブは消去されます。

保留されている残り部数の印刷のしかた

設定手順は KX **ドライバ操作手順書**を参照してください。

1 **「ジョブボックス >」**表示中に、[▷] キーを押してください。

2 **「>クイックコピージョブ」**が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。プリンタドライバに入力したユーザ名が表示されます。（例：ユーザー１）

3 [**実行**] キーを押すと、ユーザ名の前に**「?」**が点滅します。

```
>クイックコピージョブ
?ユーザー１
```

4 [△] または [▽] キーを押して希望するユーザ名を表示させてください。

```
>クイックコピージョブ
?ユーザー１
```

5 [**実行**] キーを押してください。ユーザ名の下に、文書名（ジョブ名）が表示され、文書名の前に**「?」**が点滅します。文書名は、プリンタドライバから入力します。（例：データ１）

```
>ユーザー1
?データ１
```

6 [△] または [▽] キーを押して、希望する文書名を表示させてください。

7 [**実行**] キーを押してください。印刷ページ数を増やす場合には [△] キーを、減らす場合には [▽] キーで印刷ページ数を変更できます。

```
>データ１
 コピー            001
```

8 [**実行**] キーを押してください。設定したページ数を印刷します。

保留されている文書の削除

保存されているジョブは、電源を切ると自動的に消去されますが、次の手順で個別に消去できます。

1 前の項目の１から６の手順を行ってください。

2 削除する文書名を表示させて、[**実行**] キーを押してください。印刷ページ数のカーソル（_）が点滅します。

```
>データ１
 コピー            001
```

3 印刷ページ数に**「サクジョ」**が表示されるまで [▽] キーを押してください。

```
>データ１
 サクジョ            _
```

4 [**実行**] キーを押してください。**「データ ショリチュウデス」**が表示され、指定した文書が削除されます。

「コジン / ホゾンジョブ」（プライベートプリント / ジョブ保留モード）

プライベートプリントは、印刷の際にドライバから設定したアクセスコードと同じ 4 桁の数字を、操作パネルから入力して印刷出力を可能にする機能です。データは印刷後に消去されます。

ジョブ保留モードはアクセスコードは使用せず、印刷出力後は印刷データをハードディスクまたは RAM ディスクに保持します。それぞれのドライバの設定方法は、KX **ドライバ操作手順書**を参照してください。

プライベートプリントおよびジョブ保留の印刷のしかた

1 「ジョブボックス ＞」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「＞コジン / ホゾンジョブ」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。プリンタドライバに入力したユーザ名が表示されます。（例：ユーザー２）

3 ［実行］キーを押すと、ユーザ名の前に「？」が点滅します。

```
＞コジン/ホゾンジョブ
？ユーザー２
```

4 ［△］または［▽］キーを押して希望するユーザ名を表示させてください。

5 ［実行］キーを押してください。ユーザ名の下に、文書名（ジョブ名）が表示され、文書名の前に「？」が点滅します。文書名は、プリンタドライバから入力します。（例：データ２）

```
＞ユーザー２
？データ２
```

6 ［△］または［▽］キーを押して希望する文書名を表示させてください。

7 ［実行］キーを押してください。プリンタドライバで入力したアクセスコードを入力し、［実行］キーを押してください。

```
＞データ２
 ID            ００００
```

アクセスコードの入力は［◁］または［▷］キーを押して変更する桁にカーソルを移動させ、［△］または［▽］キーを押して数値を変更してください。

8 印刷ページ数を増やす場合には［△］キーを、減らす場合には［▽］キーを押して印刷ページ数を変更できます。

```
＞データ２
 コピー            001
```

9 ［実行］キーを押してください。設定したページ数を印刷します。

保存ジョブの削除

保存されているジョブは、次の手順で個別に消去できます。また、プライベートプリントモードで保存されているジョブは、印刷後や電源を切ると自動的に消去されますが、ジョブ保留モードで保存したジョブは消去されません。

1 前の項目の 1 から 6 の手順を行ってください。

2 削除する文書名を表示させて、[実行] キーを押してください。アクセスコードを入力して、[実行] キーを押してください。

>データ 2
コピー 001

3 印刷ページ数に「サクジョ」が表示されるまで [▽] キーを押してください。

>データ 2
サクジョ _

4 [実行] キーを押してください。指定した文書が削除されます。

Job Box 詳細設定

ハードディスクに保存できる最大文書件数や、機能ごとに割当てる容量を変更できます。

- クイックコピージョブの最大登録可能数を設定

クイックコピージョブの最大登録可能数の設定

1 「ジョブボックス >」表示中に、[▷] キーを押してください。

2 「>ジョブボックス ショウサイセッテイ >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

>ジョブボックス >
ショウサイセッテイ

3 [▷] キーを押してください。

4 「>>クイックコピージョブ ノ コスウ」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

5 [実行] キーを押してください。カーソル（_）が点滅します。

>>クイックコピージョブ
ノ コスウ 10

6 [△] または [▽] キーを押すとカーソルが点滅している位置の数値が増減します。設定値は 0 ～ 50 です。[◁] または [▷] キーを押すとカーソルが左右に移動します。（例：10）

7 希望の最大保存件数を表示させて、[実行] キーを押してください。

8 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリント デキマス」に戻ります。

「カウンタ」（カウンタ値の選択）

印刷ページ数の表示を行います。

カウンタ値の選択には以下の項目があります。

- 「ゴウケイ ページスウ」（総印刷ページ数の表示）
- 「カラー ページスウ」（カラー印刷ページ数の表示）
- 「シロクロ ページスウ」（白黒印刷ページ数の表示）

1 ［メニュー］キーを押してください。

2 「カウンタ ＞」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

カウンタ　　　　　＞

「ゴウケイページスウ」（総印刷ページ数の表示）

総印刷ページ数は表示のみで、変更はできません。

1 「カウンタ ＞」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「＞ゴウケイ ページスウ」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。総印刷ページが表示されます。（例：2000000）

＞ゴウケイ　ページスウ 2000000

3 ［メニュー］キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリント デキマス」に戻ります。

「カラー ページスウ」（カラー印刷ページ数の表示）

カラー印刷ページ数は表示のみで、変更はできません。

1 「カウンタ ＞」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「＞カラー ページスウ」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。総印刷ページが表示されます。（例：1000000）

＞カラー　ページスウ 1000000

3 ［メニュー］キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリント デキマス」に戻ります。

「シロクロ ページスウ」（白黒印刷ページ数の表示）

白黒印刷ページ数は表示のみで、変更はできません。

1 「カウンタ ＞」表示中に、［▷］キーを押してください。

2　「＞シロクロ ページスウ」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。総印刷ページが表示されます。（例：1000000）

＞シロクロ　ページスウ
1000000

3　［メニュー］キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリント デキマス」に戻ります。

「ヨウシ ノ セッテイ」（用紙の設定）

手差しトレイやカセット、各給紙元の用紙サイズと用紙の種類を設定します。

用紙の設定には以下の項目があります。

- **「テザシトレイ ヨウシサイズ」**（手差しトレイの用紙サイズの設定）
- **「テザシトレイ ヨウシシュルイ」**（手差しトレイの用紙種類の設定）
- **「カセット（1 〜 4）ヨウシサイズ」**（給紙カセットの用紙サイズの設定）
- **「カセット（1 〜 4）ヨウシシュルイ」**（給紙カセットの用紙種類の設定）
- **「シュルイ ノ ゾクセイ」**（用紙種類のカスタム設定）
- **「シュルイゾクセイ ノ リセット」**（カスタム設定のリセット）

1 ［**メニュー**］キーを押してください。

2 **「ヨウシ ノ セッテイ >」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

ヨウシ ノ セッテイ >

用紙種類の設定

給紙カセットや手差しトレイの用紙種類を設定します。印刷時にプリンタドライバで用紙種類を選択できるようになります。

また、本機に登録されている用紙種類の他に、任意の用紙種類を設定できます。詳しくは、2-33 ページの**「シュルイ ノ ゾクセイ」（用紙種類のカスタム設定）**を参照してください。

設定できる用紙の種類は、給紙元によって違います。次の表を参照してください。詳しくは、**用紙について**を参照してください

給紙元 **用紙種類（メッセージ表示）**	**手差しトレイ**	**給紙カセット** **ペーパーフィーダ** **（オプション、PF-500）**	**ペーパーフィーダ** **（オプション、PF-510）**
普通紙［64 〜 105 g/m²］（**フツウシ**）	○	○	○
OHP フィルム（**OHP フィルム**）	○	×	×
プレ印刷用紙（**プレプリント**）	○	○	○
ラベル用紙（**ラベルシ**）	○	×	○
ボンド紙（**ボンドシ**）	○	○	○
再生紙［64 〜 105 g/m²］（**サイセイシ**）	○	○	○
薄い用紙［60 〜 64 g/m²］（**ウスガミ**）	○	×	×
レターヘッド（**レターヘッド**）	○	○	○
カラー紙［64 〜 105 g/m²］（**カラーシ**）	○	○	○
パンチ済み用紙（**パンチズミシ**）	○	○	○
封筒（**フウトウ**）	○	×	○
はがき（**ハガキ**）	○	×	○

加工紙（コート紙、その他の加工紙）（カコウシ）	○	×	○
厚い用紙［105 〜 220 g/m²］（アツガミ）	○	×	○
カラー印刷用紙（ジョウシツシ）	○	○	○
カスタム＃（カスタム#）	○	○	○

○：用紙種類を設定できます。　×：用紙種類を設定できません。

「テザシトレイ ヨウシサイズ」（手差しトレイの用紙サイズの設定）

手差しトレイから給紙する用紙に正しく印刷するために、次の手順で用紙サイズを設定してください。工場出荷時は、A4 サイズに設定されています。

手差しトレイから給紙できる用紙サイズについては、**用紙について**を参照してください。

参考：本メニューで設定した用紙サイズと同じサイズの用紙を、手差しトレイにセットしてください。サイズが一致しないと紙づまりの原因になります。

1 「ヨウシ ノ セッテイ ＞」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「＞テザシ ヨウシサイズ」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［実行］キーを押すと、「？」が点滅します。

```
＞テザシ ヨウシサイズ
?  A4
```

4 ［△］または［▽］キーを押して、希望する用紙サイズを表示させてください。表示されるサイズは次のとおりです。

Env. Monarch
Envelope #10
Envelope #9
Envelope #6
Envelope DL
Envelope C5
A6
B6
A5
B5
ISO B5
A4
Executive
Letter
Legal
Custom
ハガキ
オウフク ハガキ
Oficio II
Statement
Folio
ヨウケイ2ゴウ
ヨウケイ4ゴウ
16K

5 ［実行］キーを押してください。

6 ［メニュー］キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリント デキマス」に戻ります。

「テザシトレイ ヨウシシュルイ」（手差しトレイの用紙種類の設定）

手差しトレイから給紙できる用紙種類を設定できます。工場出荷時の設定は「フツウシ」に設定されています。

用紙の種類については、**用紙について**を参照してください。

1 「ヨウシ ノ セッテイ ＞」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「＞テザシトレイ ヨウシシュルイ」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［実行］キーを押すと、「？」が点滅します。

```
＞テザシトレイ ヨウシシュルイ
?  フツウシ
```

4 ［△］または［▽］キーを押して、希望する用紙種類を表示させてください。表示される用紙種類は次のとおりです。

フツウシ
OHPフィルム
プレプリント
ラベルシ
ボンドシ
サイセイシ
ウスガミ
レターヘッド
カラーシ
パンチズミシ
フウトウ
ハガキ
カコウシ
アツガミ
ジョウシツシ
カスタム 1(～8)

参考：「**カスタム**」を選択した場合、任意の用紙種類を定義してプリンタに登録しておくことができます。詳しくは、2-33 ページの**「シュルイ ノ ゾクセイ」（用紙種類のカスタム設定）**を参照してください。

5 ［**実行**］キーを押してください。

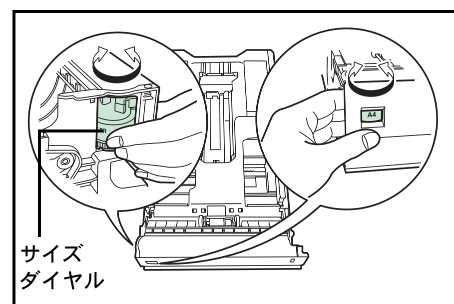
6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

「カセット（1 ～ 4）ヨウシサイズ」（給紙カセットの用紙サイズの設定）

本機の給紙カセットに用紙をセットする場合は、次の手順で給紙カセットのサイズダイヤルを設定してください。規格紙（A5、A4、B5、Letter）以外のサイズの用紙を給紙カセットにセットする場合は、2-30 ページの**カスタム用紙サイズ**を参照してください。カセット内の用紙ガイドの調整手順は、**使用説明書 3 日常のメンテナンス（用紙の補給）**を参照してください。

また、オプションの**ペーパーフィーダ** PF-500、PF-510 を装着している場合には、ペーパーフィーダの給紙カセットも同じ手順で設定します。

1 プリンタから給紙カセットを引き出し、サイズダイヤルを使用する用紙のサイズに合わせてください。



2 印刷する用紙のサイズに合わせて、給紙カセット内の用紙ガイドを調整し、用紙をカセットにセットしてください。

カスタム用紙サイズ

A5、A4、B5、Letter の規格紙以外のサイズの用紙を給紙カセットにセットする場合は、次の手順で設定してください。

サイズダイヤルの設定

1 プリンタから給紙カセットを引き出し、サイズダイヤルを Other に合わせてください。詳しくは、2-29 ページの**「カセット（1 〜 4）ヨウシサイズ」（給紙カセットの用紙サイズの設定）**の手順 1 を参照してください。

2 印刷する用紙のサイズに合わせて、給紙カセット内の用紙ガイドを調整し、用紙をカセットにセットしてください。

操作パネルからの用紙サイズの設定

操作パネルから、給紙カセットにセットした用紙のサイズをプリンタに設定します。このメニューは、給紙カセットのサイズダイヤルを Other に設定した場合に表示されます。

1 **「ヨウシ ノ セッテイ ＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「＞カセット ヨウシサイズ」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。オプションのペーパーフィーダを装着している場合は、**「カセット 1 ヨウシサイズ」**がプリンタの給紙カセットとして、**「カセット 2 ヨウシサイズ」、「カセット 3 ヨウシサイズ」、「カセット 4 ヨウシサイズ」**がオプションのペーパーフィーダとして表示されます。

3 ［**実行**］キーを押すと、**「？」**が点滅します。

```
＞カセット ヨウシサイズ
？Custom
```

4 ［△］または［▽］を押して、セットする用紙サイズを表示させてください。表示される用紙サイズは次のとおりです。

Env. Monarch
Envelope #10
Envelope #9
Envelope #6
Envelope DL
Envelope C5
A6
B6
A5
B5
ISO B5
A4
Executive
Letter
Legal
Custom
ハガキ
オウフク ハガキ
Oficio II
Statement
Folio
ヨウケイ2ゴウ
ヨウケイ4ゴウ
16K

参考：「A6」は、「カセット ヨウシサイズ」もしくは「カセット１ ヨウシサイズ」の場合に表示されます。

「Env.Monarch」、「Envelope #10」、「Envelope #9」、「Envelope #6」、「Envelope DL」、「オウフクハガキ」、「ヨウケイ２ゴウ」、「ヨウケイ４ゴウ」は、ペーパーフィーダ（オプション：PF-500、PF-510）のカセット（２～４）を装着した場合に表示されます。

5 希望の用紙サイズを表示させて［実行］キーを押してください。給紙カセットの用紙サイズが設定されます。手順 4 で「Custom」を選んだ場合は次の項目で用紙の幅と長さを設定してください。

「タンイ」（単位の設定）

まず、次の手順で単位を設定します。

1 ［▷］キーを押してください。

2 「＞＞タンイ」が表示されます。単位はミリまたはインチが選択でき、現在設定されている単位が表示されます。（初期設定は「ミリ」です）

3 ［実行］キーを押すと、「？」が点滅します。

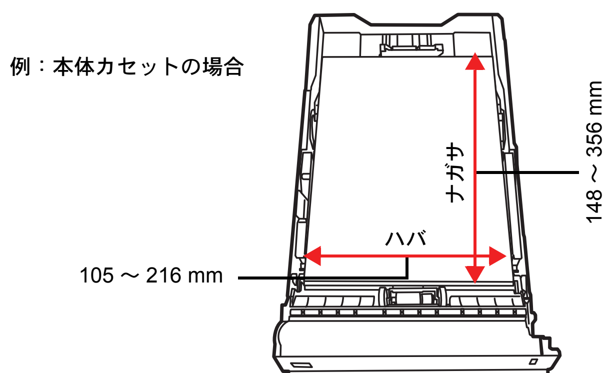
```
>>タンイ
?  ミリ
```

4 ［△］または［▽］キーを押して「ミリ」または「インチ」を選択してください。

5 ［**実行**］キーを押してください。

用紙幅と用紙長さの設定

次に、次の手順で用紙の幅と長さを設定します。図のように用紙サイズの「**ハバ**」と「**ナガサ**」を入力してください。



1 ［▽］キーを押してください。下のような「**>>ハバ**」（用紙幅設定）が表示されます。

2 ［**実行**］キーを押すと、カーソル（＿）が点滅します。

```
>>ハバ
        216 ミリ
```

3 ［△］または［▽］キーを使って、カーソルが点滅している場所の数値を変更してください。［◁］または［▷］キーを押すとカーソルが左右に移動します。

各カセットで設定できる用紙幅の範囲は、以下の通りです。

- 本体カセット：105 ～ 216mm
- ペーパフィーダ（オプション）PF-500、PF-510：92 ～ 216 mm

4 希望の用紙幅を表示させて、［**実行**］キーを押してください。

5 用紙幅を設定後、［▽］キーを押してください。「**>>ナガサ**」（用紙長設定）が表示されます。用紙幅と同様の手順で用紙長を設定してください。

各カセットで設定できる用紙長の範囲は、以下の通りです。

- 本体カセット：148 ～ 356 mm
- ペーパフィーダ（オプション）PF-500、PF-510：162 ～ 356 mm

6 希望の用紙長を表示させて、［**実行**］キーを押してください。

7 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

「カセット（1 ～ 4）ヨウシシュルイ」（給紙カセットの用紙種類の設定）

給紙カセットごとに用紙種類を設定すると、印刷時にアプリケーションから指定した用紙種類に合わせて、自動的に給紙カセットが選択されて給紙します。工場出荷時は「**フツウシ**」に設定されています。

オプションの**ペーパーフィーダ** PF-500、PF-510 を装着している場合は、ペーパーフィーダの給紙カセットにも、同様の手順で用紙種類を設定できます。

給紙カセットから給紙できる用紙の種類について、詳しくは**用紙について**を参照してください。

1 **「ヨウシ ノ セッテイ ＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「＞カセット ヨウシシュルイ」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。オプションのペーパーフィーダを装着している場合は、**「カセット 1 ヨウシシュルイ」**がプリンタの給紙カセットとして、**「カセット 2 ヨウシシュルイ」**、**「カセット 3 ヨウシシュルイ」**、**「カセット 4 ヨウシシュルイ」**がオプションのペーパーフィーダとして表示されます。

3 ［**実行**］キーを押すと、**「？」**が点滅します。

＞カセット ヨウシシュルイ
？　フツウシ

4 ［△］または［▽］キーを押して、希望するカセットの用紙種類を表示させてください。表示される用紙種類は次のとおりです。

フツウシ
プレプリント
ラベルシ
ボンドシ
サイセイシ
レターヘッド
カラーシ
パンチズミシ
フウトウ
ハガキ
カコウシ
アツガミ
ジョウシツシ
カスタム 1(～8)†

注意：「ラベルシ」、**「フウトウ」**、**「ハガキ」**、**「カコウシ」**、**「アツガミ」**は、オプションのペーパフィーダ（PF-510）を装着した場合のみ表示されます。

5 ［**実行**］キーを押してください。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリント デキマス」**に戻ります。

「シュルイ ノ ゾクセイ」（用紙種類のカスタム設定）

プリンタに任意の用紙種類を設定するカスタム設定は、最大 8 個まで登録できます。設定後は、各給紙元の用紙種類設定時に呼び出すことができます。

† 任意の用紙種類を定義して、プリンタに登録しておくことができます。詳しくは、2-33 ページの**「シュルイ ノ ゾクセイ」（用紙種類のカスタム設定）**を参照してください。

用紙種類のカスタム設定を行った後に、紙の厚さと両面印刷の設定を行います。詳しくは 2-34 ページの**「ヨウシ ノ オモサ」（紙の厚さ設定）**と、2-35 ページの**「リョウメン インサツ ノ キュウシ」（両面印刷給紙の設定）**を参照してください。カスタム設定をリセットするには、2-36 ページの**「シュルイゾクセイ ノ リセット」（カスタム設定のリセット）**を参照してください。

1 **「ヨウシ ノ セッテイ ＞」**表示中に、[▷] キーを押してください。

2 **「＞シュルイ ノ ゾクセイ＞」**が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

3 [**実行**] キーを押すと、**「？」**が点滅します。

```
＞シュルイ ノ ゾクセイ  ＞
?  フツウシ
```

4 [△] または [▽] キーを押して、希望する用紙種類を表示させてください。表示される用紙種類は次の通りです。

フツウシ
OHPフィルム
プレプリント
ラベルシ
ボンドシ
サイセイシ
ウスガミ
レターヘッド
カラーシ
パンチズミシ
フウトウ
ハガキ
カコウシ
アツガミ
ジョウシツシ
カスタム1(～8)

5 [**実行**] キーを押してください。

6 [▷] キーを押して、次の**紙の厚さ設定**へ進んでください。

「ヨウシ ノ オモサ」（紙の厚さ設定）

カスタム設定で選択した用紙種類の紙の厚さを設定します。

1 カスタム設定の用紙種類を表示し（2-33 ページの**「シュルイ ノ ゾクセイ」（用紙種類のカスタム設定）**を参照してください）、[▷] キーを押してください。

2 **「＞＞ヨウシ ノ オモサ」**が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

3 [**実行**] キーを押すと、**「？」**が点滅します。

```
＞＞ヨウシ ノ オモサ
?  フツウ 2
```

4 ［△］または［▽］キーを押して、希望する紙の厚さを表示させてください。表示される紙の厚さは次のとおりです。（坪量は目安です。）

カルイ（60～64g/m²）
フツウ 1（64～75 g/m²）
フツウ 2（75～90 g/m²）
フツウ 3（90～105 g/m²）
オモイ 1（105～135 g/m²）
オモイ 2（135～170 g/m²）
オモイ 3（170～220 g/m²）
OHP

初期設定は「**フツウ 2**」です。各用紙で最適な印刷になるように、下記のように紙の厚さを調整してお使いください。

用紙種類	紙の厚さ
フツウシ	フツウ 2
OHP フィルム	OHP
プレプリント	フツウ 2
ラベルシ	オモイ 1
ボンドシ	フツウ 3
サイセイシ	フツウ 2
ウスガミ	カルイ
レターヘッド	フツウ 2
カラーシ	フツウ 2
パンチズミシ	フツウ 1
フウトウ	オモイ 2
ハガキ	オモイ 2
カコウシ	フツウ 2
アツガミ	オモイ 2
ジョウシツシ	フツウ 2
カスタム 1（～ 8）	フツウ 2

5 ［**実行**］キーを押してください。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

用紙種類を「**カスタム**」に設定している場合は、両面印刷の設定ができます。次の**両面印刷の設定**を参照してください。

「リョウメンインサツ ノ キュウシ」（両面印刷給紙の設定）

用紙種類を「**カスタム**」に設定している場合は、両面印刷の設定を次の手順で行えます。初期設定は「**カノウ**」に設定されています。

1 カスタム設定の用紙種類を表示させて（詳しくは 2-33 ページの「**シュルイ ノ ゾクセイ**」（**用紙種類のカスタム設定**）を参照してください）、［▷］キーを押してください。

2 「**＞＞リョウメンインサツ ノ キュウシ**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押すと、「**？**」が点滅します。

```
＞＞リョウメンインサツ ノ
キュウシ ？ カノウ
```

4 ［△］または［▽］キーを押して、「**カノウ**」または「**フカノウ**」を選択してください。それぞれの用紙種類の初期設定について、詳しくは 1-2 ページの**用紙の基本仕様**を参照してください。

5 ［**実行**］キーを押してください。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

「シュルイゾクセイ ノ リセット」（カスタム設定のリセット）

2-33 ページの「**シュルイ ノ ゾクセイ**」（**用紙種類のカスタム設定**）で設定したすべての種類について属性の設定をリセットします。

1 「**ヨウシ ノ セッテイ ＞**」**表示中に、**［▷］キーを押してください。

2 「**＞シュルイゾクセイ ノ リセット**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押すと、「**？**」が表示されます。

```
＞シュルイゾクセイ ノ
 リセット ？
```

4 ［**実行**］キーを押してください。設定した紙の厚さの設定および両面印刷の設定は、すべて初期設定値にリセットされます。メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

「インサツセッテイ」（印刷の設定）

印刷時の階調設定、光沢の強弱、印刷枚数や縮小印刷、印刷方向など、印刷環境の設定を行います。

印刷品質の設定には以下の項目があります。

- **「キュウシモト」**（給紙元の選択）
- **「キュウシ シテイ ドウサ」**（自動カセット切り替えの設定）
- **「リョウメンインサツ」**（両面印刷モードの設定）
- **「A4/LT キョウツウ」**（A4/Letter 用紙の共通給紙設定）
- **「エミュレーション」**（エミュレーションモードの設定）
- **「カラーモード」**（カラーモードと白黒モードの選択）
- **「インサツヒンシツ」**（印刷品質の設定）
- **「インサツカンキョウ」**（印刷環境の設定）

1 ［**メニュー**］キーを押してください。

2 **「インサツセッテイ ＞」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

インサツセッテイ　　　　＞

「キュウシモト」（給紙元の選択）

給紙元を設定します。アプリケーションからの印刷で給紙元を指定しないときは、ここで設定した給紙元から給紙されます。給紙カセットや手差しトレイのほかに、オプションのペーパーフィーダを給紙元として設定することもできます。

1 **「インサツセッテイ ＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「＞キュウシモト」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押すと、**「？」**が点滅します。

＞キュウシモト
?　カセット　1

4 ［△］または［▽］キーを押して希望する給紙元を表示させてください。装着されているオプション機器によって、次のように表示されます。

カセット（プリンタの標準カセットのみ使用）
カセット1～4（オプションのペーパーフィーダのカセット装着時）
テザシトレイ

5 ［**実行**］キーを押してください。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリント デキマス」**に戻ります。

「キュウシ シテイ ドウサ」（給紙元の設定）

給紙元（カセット、トレイ）と用紙の種類を指定している場合、給紙の仕方を指定する機能です。**「ジドウ」**にすると、用紙のサイズ、タイプが合致した給紙元を検索し、一致した給紙元より用紙を送ります。**「コテイ」**にすると、指定した給紙元が合致しない場合、エラー表示になります。初期設定は**「ジドウ」**です。設定を変更する場合は、次の手順で行ってください。

1 **「インサツセッテイ ＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「＞キュウシ シテイ ドウサ」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押すと、**「？」**が点滅します。

＞キュウシ シテイ ドウサ ？ ジドウ

4 ［△］または［▽］キーを押して、**「ジドウ」**または**「コテイ」**を表示させてください。

5 ［**実行**］キーを押してください。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリント デキマス」**に戻ります。

印刷途中で用紙がなくなったとき

給紙指定動作を**「コテイ」**に設定した場合、印刷途中で給紙カセットの用紙がなくなると、**「カセット 1 カラキュウシシマス」**と表示して待機します。この場合は、用紙がなくなった給紙カセットに用紙を補給するか、次の手順で他の給紙元から印刷を行います。

1 **「カセット 1 カラキュウシシマス」**を表示中に、**「ダイヨウキュウシシマスカ（代用給紙しますか）？」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

2 希望する給紙元およびサイズが表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

［△］または［▽］キーを押すごとに、他の給紙カセットあるいは手差しトレイの現在使用できる給紙サイズが表示されます。

3 ［**実行**］キーを押してください。印刷が続行されます。

「リョウメンインサツ」（両面印刷モードの設定）

両面印刷が可能な用紙の種類は、給紙カセットから給紙できる用紙です。手差しトレイからのみ給紙できる用紙種類（**OHP フィルム、ラベルシ、ウスガミ、フウトウ、ハガキ、カコウシ、アツガミ**）は、両面印刷できません。（2-26 ページの**用紙種類の設定**を参照）。

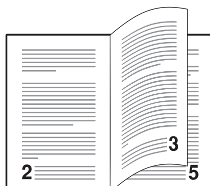
注意：手差しトレイから両面印刷する場合、給紙カセットから給紙できる用紙を使用しないと、紙づまりの原因となりますのでご注意ください。

参考：オプションのペーパーフィーダ（PF-510）を装着した場合、コート紙（**カコウシ**）の両面印刷をすることができます。

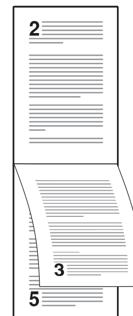
製本モードの設定

製本モードには縁の長い側をとじるロングエッジ（長辺とじ）と、縁の短い側をとじるショートエッジ（短辺とじ）の 2 種類があります。ロングエッジまたはショートエッジは、プリンタの縦置き（ポートレート）印刷や横置き（ランドスケープ）印刷と組み合わせて選択できます。したがって、製本の種類および印刷方向によって、製本モードは次の 4 通りが設定できます。

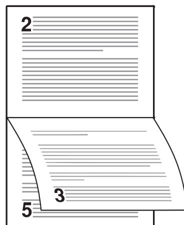
(1) 縦置き・ロングエッジ



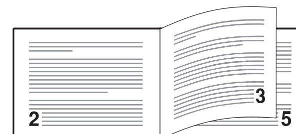
(2) 縦置き・ショートエッジ



(3) 横置き・ロングエッジ



(4) 横置き・ショートエッジ



参考：プリンタドライバのブックレット機能と組み合わせると、中とじ製本の可能な、ページ割付け印刷ができます。

1 **「インサツセッテイ ＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「＞リョウメンインサツ」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押すと、**「？」**が点滅します。

```
＞リョウメンインサツ
？　オフ
```

4 ［△］または［▽］キーを押して、希望する製本モードを表示させてください。表示されるモードは次のとおりです。

オフ（初期設定）
ショートエッジ
ロングエッジ

5 ［**実行**］キーを押してください。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

「A4/LT キョウツウ」（A4/Letter 用紙の共通給紙設定）

この設定を「**オン**」にすると、A4 サイズと Letter を区別せずに給紙を行います。工場出荷時の設定は「**オン**」（A4 サイズと Letter を区別しない）になっています。

1 「**インサツセッテイ ＞**」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「**＞ A4/LT キョウツウ**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押すと、「**？**」が点滅します。

```
>A4/LT キョウツウ
?  オン
```

4 ［△］または［▽］キーを押して、「**オン**」または「**オフ**」を選択してください。

5 ［**実行**］キーを押してください。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

「エミュレーション」（エミュレーションモードの選択）

インタフェースごとに異なるエミュレーションを設定できます。次の手順で選択してください。

1 「**インサツセッテイ ＞**」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「**＞エミュレーション＞**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。現在選択されているエミュレーションが表示されます。

3 ［**実行**］キーを押すと、「**？**」が点滅します。

```
>エミュレーション     >
?PCL  6
```

4 ［△］または［▽］キーを押して、希望するエミュレーションを表示させてください。次のエミュレーションが、選択できます。

PCL 6（初期設定）
KPDL（PostScript レベル 3 互換）
KPDL（ジドウ）（自動選択）

5 ［実行］キーを押してください。

6 ［メニュー］キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリント デキマス」に戻ります。

「エラーレポート」（KPDL エラーの印刷）

KPDL エミュレーションモードで印刷中に、エラーが発生した際にその内容を印刷します。初期設定は、印刷しない設定（オフ）です。KPDL エラーを印刷するには、次の手順で設定を変更してください。

1 「インサツセッテイ ＞」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「＞エミュレーション＞」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［実行］キーを押すと、「？」が点滅します。

```
＞エミュレーション
？PCL 6
```

4 ［△］または［▽］キーを押して、「KPDL」または「KPDL（ジドウ）」を選択して、［実行］キーを押してください。

```
＞エミュレーション　　　＞
　KPDL（ジドウ）
```

5 ［▷］キーを押してください。「＞＞エラーレポート」が表示されます。初期設定は「オン」になっています。

6 ［実行］キーを押すと、「？」が点滅します。

7 ［△］または［▽］キーを押して、「オン」を表示させてから、［実行］キーを押してください。

```
＞＞エラーレポート
？ オン
```

8 ［メニュー］キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリント デキマス」に戻ります。

「カラーモード」（カラーモードと白黒モードの選択）

カラーモードまたは白黒モードを選択します。初期設定では、カラーモードに設定されています。次の手順でモードを変更できます。

1 「インサツセッテイ ＞」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「＞カラー モード」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押すと、「**?**」が点滅します。

```
>カラー モード
?カラー
```

4 ［△］または［▽］キーを押して、希望するモード（「**カラー**」または「**シロクロ**」）を表示させてください。

5 ［**実行**］キーを押してください。モードが変更されます。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

「インサツヒンシツ」（印刷品質の設定）

印刷時、光沢の強弱とエコプリント（トナー消費をおさえて印刷）の選択を設定します。

印刷品質の設定には以下の項目があります。

- 「**コウタク モード**」（光沢モードの選択）
- 「**エコプリント モード**」（エコプリントモードの選択）

1 「**インサツセッテイ >**」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「**>インサツヒンシツ>**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

```
>インサツヒンシツ        >
```

「コウタク　モード」（光沢モードの設定）

光沢モードを「**ツヨイ**」に設定すると、印刷物の光沢を増すことができます。ただし、印刷時間が長くなります。

重要：光沢モードの「**ツヨイ**」は、用紙種類が「**ラベルシ**」や「**OHP フィルム**」以外の設定で有効です（2-26 ページの**用紙種類の設定**を参照）。

光沢モードで印刷を行うと、用紙の種類や状態によっては用紙にシワが入ることがあります。その場合はシワの入りにくい、厚めの用紙に代えてみてください。

光沢モードは、次のように切り換えます。初期設定は「**ヨワイ**」です。

1 「**>インサツヒンシツ >**」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「**>>コウタク モード**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押すと、「**?**」が点滅します。

```
>>コウタク モード
?  ヨワイ
```

4 ［△］または［▽］キーを押して、「**ヨワイ**」か「**ツヨイ**」を選択してください。

5　［**実行**］キーを押してください。

6　［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

「エコプリント モード」（エコプリントモードの設定）

エコプリントモードを「**オン**」にすると、トナー消費量をおさえて印刷することができます。印刷結果は標準解像度に比べ、画像がやや粗くなるため、試しプリントなど高品質な出力紙が必要でないときに使用してください。

エコプリントモードは、次のように切り換えます。初期設定は「**オフ**」です。

1　「**＞インサツヒンシツ ＞**」表示中に、［▷］キーを押してください。

2　「**＞＞エコプリント モード**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3　［**実行**］キーを押すと、「**？**」が点滅します。

```
＞＞エコプリント モード
?  オフ
```

4　［△］または［▽］キーを押して、「**オン**」か「**オフ**」を選択してください。

5　［**実行**］キーを押してください。

6　［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

「インサツカンキョウ」（印刷環境の設定）

印刷枚数や印刷方向など、印刷環境の設定を行います。

印刷環境の設定には以下の項目があります。

- 「**コピー マイスウ**」（印刷枚数の設定）
- 「**インサツ ノ ムキ**」（印刷方向の選択）
- 「**ワイド A4**」（ワイド A4 の設定）

1　「**インサツセッテイ ＞**」表示中に、［▷］キーを押してください。

2　「**＞インサツカンキョウ＞**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

```
＞インサツカンキョウ     ＞
```

「コピー マイスウ」（印刷枚数の設定）

現在選択しているインタフェースから印刷する枚数を設定します。

1　「**＞インサツカンキョウ ＞**」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「＞＞コピー マイスウ」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［実行］キーを押すと、カーソル（__）が点滅します。

```
>>コピー　マイスウ
                001
```

4 ［△］または［▽］キーを押して、点滅しているカーソルの位置の数値を増減してください。1 ～ 999 まで設定できます。［◁］または［▷］キーを押すとカーソルを左右に移動できます。

5 希望の印刷枚数を表示させて、［実行］キーを押してください。

6 ［メニュー］キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリント デキマス」に戻ります。

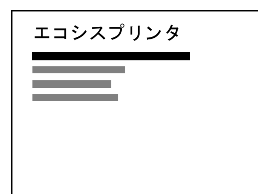
「インサツ ノ ムキ」（印刷方向の選択）

印刷方向を縦向き、または横向きのどちらかを選択します。

縦向き「タテ」



横向き「ヨコ」



1 「＞インサツカンキョウ ＞」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「＞＞インサツ ノ ムキ」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［実行］キーを押すと、「？」が点滅します。

```
>>インサツ ノ ムキ
? タテ
```

4 ［△］または［▽］キーを押して「タテ」または「ヨコ」を選択してください。

5 ［実行］キーを押してください。

6 ［メニュー］キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリント デキマス」に戻ります。

「ワイド A4」（ワイド A4 の設定）

この設定を「オン」にすると、A4 ページ 1 行に印刷できる文字数が 80 文字に増加します（10 cpi）。この設定は PCL 6 のエミュレーションでのみ有効になります。

1 「＞インサツカンキョウ ＞」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「＞＞ワイド A4」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［実行］キーを押すと、「？」が点滅します。

```
＞＞ワイド  A4
? オフ
```

4 ［△］または［▽］キーを押して「オン」または「オフ」を選択してください。

5 ［実行］キーを押してください。

6 ［メニュー］キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリント デキマス」に戻ります。

「ネットワーク」（ネットワークの設定）

本機は、TCP/IP、TCP/IP（IPv6）プロトコルに対応しています。

IP とは、インターネットプロトコルを意味します。通常 IP は TCP/IP（IPv4）を使用し、次世代の IP である IPv6（バージョン 6）と区別しています。

TCP/IP（IPv4）では、IP アドレスに 32 ビットが使用されていますが、インターネット・ユーザーの急速な拡大に伴って、IP アドレスが不足するようになりました。このため、IP アドレスに 128 ビットを使用し、広範囲に適応できる IPv6 が開発されました。

ネットワークの設定には以下の項目があります。

- 「TCP/IP」（TCP/IP（IPv4）の設定）
- 「TCP/IP （IPv6）」（TCP/IP（IPv6）の設定）

注意：設定するネットワークは、ネットワーク管理者に確認してください。

1 ［メニュー］キーを押してください。

2 「ネットワーク ＞」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

ネットワーク ＞

「TCP/IP」（TCP/IP（IPv4）の設定）

TCP/IP（IPv4）の各種設定を行います。

TCP/IP システムは、インターネット・システムを示し、インターフェイス層、リンク層、ネットワーク（IP）層、トランスポート（TCP/UDP）層、アプリケーション層の 5 つのレイヤ構成になっています。

インタフェース層は、TCP/IP システムの 1 つの特徴となっている層で、IP モジュール（IP 層）に対してリンク（通信回線：フレーム・リレーや Ethernet など）に依存しない、抽象化されたインタフェースを提供します。このため、IP モジュールは、この抽象化された（リンク種別に依存しない）インタフェースを用いて、IP パケットをリンク層に渡し、リンク層から受け取っています。

TCP/IP（IPv4）の設定には以下の項目があります。

- 「DHCP」（DHCP の設定）
- 「IP アドレス」（IP アドレスの設定）
- 「サブネット マスク」（サブネットマスクの設定）
- 「デフォルト ゲートウェイ」（ゲートウェイの設定）
- 「Bonjour」（Bonjour の設定）

注意：TCP/IP の DHCP、IP アドレス、サブネット マスク、ゲートウェイ、Bonjour のメニューは、TCP/IP オン時に表示されます。

1 「ネットワーク ＞」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「＞ TCP/IP ＞」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［実行］キーを押すと、「？」が点滅します。

```
＞TCP/IP        ＞
? オフ
```

4 ［△］または［▽］キーを押して「オン」または「オフ」を選択してください。

5 「オン」を選択し、［実行］キーを押してください。メッセージディスプレイは、以下の各種設定に移ります。

「DHCP」（DHCP の設定）

DHCP は、動的ホスト構成プロトコルで、ホストがネットワーク（インターネット）に接続しようとする際に、自ノードの IP アドレスやデフォルト・ルータ（自分が属するネットワーク・システム内にあるルータ）の IP アドレス、DNS（Domain Name System、ドメイン名解決システム）サーバなどの、ネットワーク接続に必要な情報を与えるプロトコルです。DHCP は、BOOTP （Bootstrap Protocol、起動プロトコル。ブート・ピーと読む）を拡張しています。

1 「＞ TCP/IP オン＞」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「＞＞ DHCP」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［実行］キーを押すと、「？」が点滅します。

```
＞＞DHCP
? オフ
```

4 ［△］または［▽］キーを押して「オン」または「オフ」を選択してください。

5 ［実行］キーを押してください。

6 ［メニュー］キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリント デキマス」に戻ります。

「IP アドレス」（IP アドレスの設定）

IP アドレスとは、インターネットのデータ（IP パケット）を送受信するため、必要な IP パケットの中に含まれている、PC などの住所のことを示します。（宛先アドレスと送信アドレスがある）。

具体的には、インターネットに接続された PC（ホスト）を識別する「ホスト・アドレス（ホスト部とも言う）」と、その PC（ホスト）が属しているネットワーク（具体的には PC のネットワーク・インタフェースを指す）を識別する「ネットワーク・アドレス（ネットワーク部）」の 2 つで構成され、ビット列となっています。インターネット・システム全体の中で唯一の（一意の）ビット列（IP アドレス）が、それぞれの PC あるいはインタフェースに割り当てられます。

現在のインターネット（IPv4：IP バージョン 4）で用いられている IP アドレスは、32 ビットの固定長となっています。

注意：IP アドレスを入力するときは、DHCP の設定をオフにしてください。

1 「**＞ TCP/IP オン＞**」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「**＞＞ IP アドレス**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押すと、カーソル（__）が点滅します。

```
>>IP アドレス
   000. 000. 000. 000
```

4 ［△］または［▽］キーを押して、点滅しているカーソルの位置の数値を増減してください。000 〜 255 まで設定できます。［◁］または［▷］キーを押すとカーソルを左右に移動できます。

5 希望の IP アドレスを表示させて、［**実行**］キーを押してください。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

「サブネット マスク」（サブネットマスクの設定）

サブネットマスクは、IP アドレスのネットワーク・アドレス部を増やす方法です。

サブネット・マスクは、ネットワーク・アドレス部をすべて 1 として表現し、ホスト・アドレス部をすべて 0 として表現します。プレフィックス長は、ネットワーク・アドレス部の長さをビット数で表します。プレフィックス（Prefix）とは、「接頭辞」つまり、「前に付けるもの」という意味があり、IP アドレスの「先頭部分」を指します。

IP アドレスを表記するときに、ネットワーク・アドレス部の長さまで表現したい場合は、“133.201.2.0/24”のように“/”（スラッシュ）の後にプレフィックス長（この場合は「24」）を書くことになっています。したがって、「133.201.2.0/24」は、プレフィックス長（つまりネットワーク部）が 24 ビットの「133.201.2.0」という IP アドレスということになります。

サブネット・マスクによって新しく増えたネットワーク・アドレス部（本来のホスト・アドレス部の一部分）をサブネット・アドレスと呼びます。

注意：サブネットマスクを入力するときは、DHCP の設定をオフにしてください。

1 「**＞ TCP/IP オン＞**」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「**＞＞サブネット マスク**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押すと、カーソル（__）が点滅します。

```
>>サブネット マスク
   000. 000. 000. 000
```

4 ［△］または［▽］キーを押して、点滅しているカーソルの位置の数値を増減してください。000 ～ 255 まで設定できます。［◁］または［▷］キーを押すとカーソルを左右に移動できます。

5 希望のサブネットマスクを表示させて、［実行］キーを押してください。

6 ［メニュー］キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリント デキマス」に戻ります。

「デフォルト ゲートウェイ」（ゲートウェイの設定）

ゲートウェイとは、一般的にプロトコル体系が異なるネットワーク間を相互接続するためのプロトコル変換器のことを示します。

例えば、異なる閉じたネットワーク（独自のプロトコル環境）と、オープンなインターネット（TCP/IP プロトコル環境）をつなぐ装置として「ゲートウェイ」が必要となります。

ゲートウェイを導入することによって、異なるネットワーク間で「通信プロトコル」や「データの表示方法」が相互に変換できるようになります。

TCP/IP ネットワークでは、ルータを指してゲートウェイ（デフォルト・ゲートウェイ）といいます。

注意：ゲートウェイを入力するときは、DHCP の設定をオフにしてください。

1 「＞ TCP/IP オン＞」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「＞＞デフォルト ゲートウェイ」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［実行］キーを押すと、カーソル（_）が点滅します。

```
>>デフォルト ゲートウェイ
  000. 000. 000. 000
```

4 ［△］または［▽］キーを押して、点滅しているカーソルの位置の数値を増減してください。000 ～ 255 まで設定できます。［◁］または［▷］キーを押すとカーソルを左右に移動できます。

5 希望のゲートウェイを表示させて、［実行］キーを押してください。

6 ［メニュー］キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリント デキマス」に戻ります。

「Bonjour」（Bonjour の設定）

Bonjour は、ゼロコンフィギュレーション・ネットワークとも呼ばれています。IP ネットワーク上の PC、デバイス、およびサービスを自動的に検出するサービスです。

Bonjour は、業界標準の IP プロトコルが使用されているので、IP アドレスを入力したり DNS サーバを設定しなくても、デバイスが相互に自動的に検出されます。

また、Bonjour は、UDP ポート 5353 上でネットワークパケットを送受信します。ファイアウォールを有効にしている場合は、Bonjour が正しく動作するように UDP ポート 5353 が開いていることを確認する必要があります。一部のファイアウォールは、Bonjour パケットの一部だけを拒否するように設定されていることがあります。Bonjour の動作が不安定な場合には、ファイアウォールの設定を確認して、Bonjour が例外リストに登録されていて受信パケットを受け入れるように設定されていることを確認してください。Bonjour を Windows XP Service Pack 2 以降にインストールする場合、Windows ファイアウォールは Bonjour によって適切に設定されます。

1 「> TCP/IP オン >」表示中に、[▷] キーを押してください。

2 「>> Bonjour」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

3 [**実行**] キーを押すと、「**?**」が点滅します。

```
>>Bonjour
? オフ
```

4 [△] または [▽] キーを押して「**オン**」または「**オフ**」を選択してください。

5 [**実行**] キーを押してください。

6 [**メニュー**] キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

「TCP/IP（IPv6）」（TCP/IP（IPv6）の設定）

TCP/IP（IPv6）の各種設定を行います。

TCP/IP（IPv6）は、アドレスの不足が心配される現行のインターネットプロトコル TCP/IP（IPv4）をベースに、管理できるアドレス空間の増大、セキュリティ機能の追加、優先度に応じたデータの送信などの改良を施した次世代インターネットプロトコルを示します。

TCP/IP（IPv6）の設定には以下の項目があります。

- 「RA (Stateless)」（RA (Stateless) の設定）
- 「DHCPv6」（DHCPv6 の設定）

注意：TCP/IP（IPv6）の RA (Stateless)、DHCPv6 のメニューは、TCP/IP（IPv6）オン時に表示されます。

1 「**ネットワーク** >」表示中に、[▷] キーを押してください。

2 「> TCP/IP （IPv6）>」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

3 [**実行**] キーを押すと、「**?**」が点滅します。

```
>TCP/IP (IPv6)      >
? オフ
```

4 [△] または [▽] キーを押して「**オン**」または「**オフ**」を選択してください。

5 「オン」を選択し、［実行］キーを押してください。メッセージディスプレイは、以下の各種設定に移ります。

「RA (Stateless)」（RA (Stateless) の設定）

IPv6 ルータは、グローバルアドレスのプレフィックスなどの情報を ICMPv6 で知らせます。この情報が Router Advertisement（RA）です。

また、ICMPv6 はインターネット制御メッセージ プロトコルのことで、RFC 2463「Internet Control Message Protocol（ICMPv6）for the Internet Protocol Version 6 (IPv6) Specification」で定義されている IPv6 標準です。

1 「> TCP/IP （IPv6）オン>」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「>> RA (Stateless)」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［実行］キーを押すと、「？」が点滅します。

```
>>RA(Stateless)
? オフ
```

4 ［△］または［▽］キーを押して「オン」または「オフ」を選択してください。

5 ［実行］キーを押してください。

6 ［メニュー］キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリント デキマス」に戻ります。

「DHCPv6」（DHCPv6 の設定）

DHCPv6 は、次世代のインターネットプロトコルである IPv6 をサポートする動的ホスト構成プロトコルのことで、構成情報をネットワーク上のホストに渡すためのプロトコルを定義している BOOTP の拡張します。

DHCPv6 を使うと、DHCP サーバーは拡張機能を使って IPv6 ノードに構成パラメータを送信できるようになります。再利用可能なネットワークアドレスが自動的に割り当てられるため、管理者が IP アドレスの割り当てを細かく制御する必要がある環境では、IPv6 ノードの管理が低減されます。

1 「> TCP/IP （IPv6）オン>」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「>> DHCPv6」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［実行］キーを押すと、「？」が点滅します。

```
>>DHCPv6
? オフ
```

4 ［△］または［▽］キーを押して「オン」または「オフ」を選択してください。

5 ［実行］キーを押してください。

6 ［メニュー］キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリント デキマス」に戻ります。

「デバイスゼンパン」（デバイス全般の選択・設定）

本機の機能全般を選択・設定します。

デバイス全般の選択・設定には以下の項目があります。

- 「ヒョウジ ゲンゴ」（表示言語の選択）
- 「ブザー」（ブザーの設定）
- 「RAM ディスク モード」（RAM ディスクの操作）
- 「ハードディスク」（ハードディスクの操作）
- 「メモリカード」（メモリカードの操作）
- 「エラー ショリ」（エラー検知の設定）
- 「ジカン」（時間の設定）

1 ［メニュー］キーを押してください。

2 「デバイスゼンパン ＞」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

デバイスゼンパン ＞

「ヒョウジ ゲンゴ」（表示言語の選択）

メッセージディスプレイに表示するメッセージの言語を、日本語または英語に設定できます。

1 「デバイスゼンパン ＞」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「＞ヒョウジ ゲンゴ」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 表示言語を変えるときは、［実行］キーを押してください。「？」が点滅します。

＞ヒョウジ ゲンゴ
？　ニッポンゴ

4 ［△］または［▽］キーを押して、言語を変更してください。

5 ［実行］キーを押してください。

6 ［メニュー］キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリント デキマス」に戻ります。

「ブザー」（ブザーの設定）

プリンタの状況や操作をブザーを鳴らして知らせる機能です。プリンタが離れた場所にある場合などに便利です。

ブザーの設定には以下の項目があります。

- **「キー ソウサ」**（操作確認音の設定）
- **「インサツ カンリョウ」**（印刷完了音の設定）
- **「ジュンビ カンリョウ」**（準備完了音の設定）
- **「ケイコク」**（警告音の設定）

1 **「デバイスゼンパン >」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「>ブザー>」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

```
>ブザー                >
```

「キー ソウサ」（操作確認音の設定）

この設定を**「オン」**にすると、キーの操作時に音が鳴ります。初期設定は**「オン」**です。

1 **「>ブザー >」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「>>キー ソウサ」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押すと、**「?」**が点滅します。

```
>>キー　ソウサ
? オン
```

4 ［△］または［▽］キーを押して**「オン」**または**「オフ」**を選択してください。

5 ［**実行**］キーを押してください。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリント デキマス」**に戻ります。

「インサツ カンリョウ」（印刷完了音の設定）

この設定を**「オン」**にすると、印刷の完了時に音が鳴ります。初期設定は**「オフ」**です。

1 **「>ブザー >」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「>>インサツ カンリョウ」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押すと、**「?」**が点滅します。

```
>>インサツ　カンリョウ
? オン
```

4 ［△］または［▽］キーを押して**「オン」**または**「オフ」**を選択してください。

5 ［**実行**］キーを押してください。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

「ジュンビ カンリョウ」（準備完了音の設定）

この設定を「**オン**」にすると、印刷準備が整ったとき音が鳴ります。初期設定は「**オフ**」です。

1 「**＞ブザー ＞**」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「**＞＞ジュンビ カンリョウ**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押すと、「**？**」が点滅します。

```
>>ジュンビ　カンリョウ
? オン
```

4 ［△］または［▽］キーを押して「**オン**」または「**オフ**」を選択してください。

5 ［**実行**］キーを押してください。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

「ケイコク」（警告音の設定）

この設定を「**オン**」にすると、印刷中に起きる用紙切れや紙づまりなど不具合時に音が鳴ります。初期設定は「**オフ**」です。

1 「**＞ブザー ＞**」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「**＞＞ケイコク**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押すと、「**？**」が点滅します。

```
>>ケイコク
? オフ
```

4 ［△］または［▽］キーを押して「**オン**」または「**オフ**」を選択してください。

5 ［**実行**］キーを押してください。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

「RAM ディスクモード」（RAM ディスクの操作）

本機は RAM ディスク機能を搭載しています。RAM ディスクはプリンタの総メモリの中から、任意のメモリサイズを RAM ディスクとして設定できます。この機能により電子ソートが可能になり、トータルの印刷時間を短縮できます。RAM ディスクは初期設定では**「オフ」**に設定されています。

RAM ディスクを有効にした場合、最大設定値は標準で 16MB、オプションメモリを装着した時はその装着したオプションメモリの 1/2 の値になります。

RAM ディスク機能を使用する前に、次のセクションで説明する方法で RAM ディスクを**「オン」**に設定し、RAM ディスクのデータサイズを設定後、再起動してください。

参考：本機はメモリーカード、オプションのハードディスク、および RAM ディスクの 3 種類のストレージ装置を使用できます。メモリーカードやハードディスクは、プリンタの専用スロットに装着して使用します。RAM ディスクは、プリンタのメモリの一部を RAM ディスクに割り当てて使用します。

注意：ハードディスクを装着した場合、RAM ディスク機能は使用できません。

RAM ディスクは一時的にデータを保存する機能です。プリンタを再起動したり電源を切った場合は消去されます。

RAM ディスクは、Job Box の一部の機能が使用できます。

RAM ディスクはプリンタのユーザ使用可能メモリの中に割り当てられます。したがって、RAM ディスクの設定値によっては、印刷速度が落ちたり、メモリ不足のために正常に印刷されない場合があります。

1 **「デバイスゼンパン ＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「＞ RAM ディスク モード＞」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 **［実行］**キーを押すと、**「？」**が点滅します。

```
>RAMディスク  モード  >
? オフ
```

4 ［△］または［▽］キーを押して**「オン」**または**「オフ」**を選択してください。

5 **［実行］**キーを押してください。

6 **［メニュー］**キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリント デキマス」**に戻ります。

「RAM ディスク サイズ」（RAM ディスクのデータサイズ設定）

RAM ディスクに使用するメモリ量を設定します。

注意：RAM ディスクサイズメニューは、RAM ディスクモード オン時に表示されます。

1 ＞RAM ディスク モード オン＞」表示中に、[▷] キーを押してください。

2 [実行] キーを押してください。カーソル（__）が点滅します。[△] または [▽] キーで RAM ディスクのサイズを変更してください。001 ～ 512 の範囲で設定できます。[◁] または [▷] キーを押すとカーソルを左右に移動できます。

```
>>RAMディスク サイズ
        092 MByte
```

設定できる範囲はプリンタの総メモリによって変わります。

希望の RAM ディスクサイズを表示させて、[実行] キーを押してください。

3 [メニュー] キーを押してください。この後プリンタの電源を入れ直してください。再起動後に設定が有効になります。

「ハードディスク」（ハードディスクの操作）

オプションのハードディスクを装着すると、次の操作が可能になります。

- ハードディスクのフォーマット（初期化）

ハードディスクのフォーマットは、ハードディスクを初めてプリンタに装着した際に必要な操作です。

参考：ハードディスクを装着すると、Job Box の全機能を使用できます。

1 「デバイスゼンパン ＞」表示中に、[▷] キーを押してください。

2 「＞ハードディスク＞」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

```
>ハードディスク        >
```

「ハードディスク ノ フォーマット」（ハードディスクの初期化）

未使用のハードディスクを使用するためには、最初に本機でハードディスクのフォーマットを行う必要があります。初期化すると、ハードディスクへのデータの書き込みが可能になります。

参考：すでにデータの書き込まれているハードディスクに対してフォーマットを行った場合は、そのハードディスク内のデータはすべて消去されます。

ハードディスクのフォーマットは、必ずプリンタで行ってください。

ハードディスクをフォーマットするときは、次の手順で行ってください。本機でフォーマットしていないハードディスクを装着した場合は、「ハードディスク ノ フォーマット ヲ シテクダサイ」が表示されます。

1 「＞ハードディスク＞」表示中に、[▷] キーを押してください。

2 「＞＞ハードディスク ノ フォーマット」が表示されます。

3 ［**実行**］キーを押すと、「**?**」が点滅します。

```
>>ハードディスク ノ
  フォーマット?
```

4 ［**実行**］キーを押してください。

「**データ ショリチュウデス**」が表示され、ハードディスクのフォーマットが実行されます。フォーマットが終了すると、メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

「メモリカード」（メモリカードの操作）

本機はメモリカードを使用して、次の操作が可能です。

- メモリカードのフォーマット（初期化）

メモリカードの取り扱いについては、**使用説明書 付録（オプションについて）**を参照してください。

注意：メモリカードのメニューは、メモリカードが差し込まれているときに表示されます。

---

1 「**デバイスゼンパン >**」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「**>メモリカード>**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

```
>メモリカード        >
```

「メモリカード ノ フォーマット」（メモリカードの初期化）

未使用のメモリカードを使用するためには、最初に本機でメモリカードのフォーマットを行う必要があります。初期化すると、メモリカードへのデータの書き込みが可能になります。

注意：メモリカードの初期化は、メモリカードが挿入されていてプロテクト オフ時に表示されます。

参考：すでにデータの書き込まれているメモリカードに対してフォーマットを行った場合は、そのメモリカード内のデータはすべて消去されます。

メモリカードのフォーマットは、必ずプリンタで行ってください。

メモリカードをフォーマットするときは、次の手順で行ってください。本機でフォーマットしていないメモリカードを装着した場合は、「**メモリカード ノ フォーマット ヲ シテクダサイ**」が表示されます。

1 「**>メモリカード>**」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「**>>メモリカード ノ フォーマット**」が表示されるます。

3 ［**実行**］キーを押すと、**「？」**が表示されます。

```
>>メモリカード ノ
 フォーマット ?
```

4 ［**実行**］キーを押してください。

「データ ショリチュウデス」が表示され、メモリカードのフォーマットが実行されます。フォーマットが終了すると、メッセージディスプレイは**「プリント デキマス」**に戻ります。

「エラー ショリ」（エラー検知の設定）

両面印刷時のエラーや給紙元固定時の用紙サイズ・種類のエラーの検知方法を設定できます。

エラー検知の設定には以下の項目があります。

- **「リョウメンインサツ」**（両面印刷時のエラー検知設定）
- **「ヨウシ ミスマッチ」**（給紙元固定時の用紙サイズ・種類のエラー検知設定）

1 **「デバイスゼンパン >」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「>エラーショリ>」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

```
>エラーショリ        >
```

「リョウメンインサツ ショリ」（両面印刷時のエラー検知設定）

両面印刷を行う時、両面印刷できないラベルなどの用紙種類を指定した場合に、**「リョウメンインサツデキマセン カイジョ ヲ オシテクダサイ」**のメッセージを表示するか、しないかを選択できます。

オン	• ［**印刷可/解除**］キーを押すと、片面印刷を行います。 • ［**キャンセル**］キーを押すと、印刷そのものをキャンセルします。
オフ	片面印刷を行います。

1 **「>エラーショリ>」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「>>リョウメンインサツ 」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押してください。**「？」**が点滅します。

```
>>リョウメンインサツ
? オフ
```

4 ［△］または［▽］キーを押して、**「オン」**または**「オフ」**を選択してください。

5 ［**実行**］キーを押してください。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリント デキマス」**に戻ります。

「ヨウシ ミスマッチ」（給紙元固定時の用紙サイズ・種類のエラー検知設定）

給紙元を固定して印刷するときに、用紙サイズまたは種類が異なる場合、そのまま給紙する（オフ）、もしくは給紙エラーを表示する（オン）を選択できます。

1 「＞エラーショリ＞」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「＞＞ヨウシ ミスマッチ 」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［実行］キーを押してください。「？」が点滅します。

```
＞＞ヨウシ　ミスマッチ
？　オン
```

4 ［△］または［▽］キーを押して、「オン」または「オフ」を選択してください。

5 ［実行］キーを押してください。

6 ［メニュー］キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリント デキマス」に戻ります。

「ジカン」（時間の設定）

自動改ページの待ち時間やオートスリープの待ち時間など、時間に関する設定を行います。

時間の設定には以下の項目があります。

- 「カイページ マチジカン」（自動改ページ待ち時間（タイムアウト）の設定）
- 「スリープ ジカン」（スリープ（待機）時間の設定）
- 「オート エラー クリア」（オートエラークリアの設定）
- 「エラー クリア ジカン」（オートエラークリアの設定時間の設定）
- 「オートパネル リセット」（オートパネルリセットの設定）
- 「パネル リセット ジカン」（パネルリセット時間の設定）
- 「オートスリープ」（オートスリープの設定）

1 「デバイスゼンパン ＞」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「＞ジカン＞」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

```
＞ジカン　　　　　　　＞
```

「カイページ マチジカン」（自動改ページ待ち時間（タイムアウト）の設定）

プリンタは PC からの印刷データを受け取る際に、PC からのデータ送信が終了したことを示す情報がないと、最後のページを印刷せずに待機します。あらかじめ設定された待ち時間が経過すると、自動的に改ページして残りのデータを印刷します。初期設定では 5 秒です。

1 「＞ジカン＞」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「＞＞カイページ マチジカン」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［実行］キーを押すと、カーソル（_）が点滅します。

```
>>カイページ マチジカン
              005sec.
```

4 ［△］または［▽］キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。希望の時間を設定してください。待ち時間は 5 秒単位で 5 ～ 495 秒の間で設定できます。［◁］または［▷］キーを押すとカーソルが左右に移動します。

5 ［実行］キーを押してください。

6 ［メニュー］キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリント デキマス」に戻ります。

「スリープ ジカン」（スリープ（待機）時間の設定）

プリンタがスリープモードに入るまでの時間を設定します。印刷データを受信したり、操作パネルの［印刷可 / 解除］キーを押すと、プリンタはスリープモードより復帰します。初期設定では 15 分です。

1 「＞ジカン＞」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「＞＞スリープ ジカン」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［実行］キーを押すと、カーソル（_）が点滅します。

```
>>スリープ ジカン
              015min.
```

4 ［△］または［▽］キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。希望の時間を設定してください。待ち時間は 1 ～ 240 分の間で設定できます。［◁］または［▷］キーを押すとカーソルが左右に移動します。

5 ［実行］キーを押してください。

6 ［メニュー］キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリント デキマス」に戻ります。

「オート エラー クリア」（オートエラークリアの設定）

継続印刷の可能なエラーが発生した場合、一定時間が経過した後に次に受信しているデータを自動的に継続印刷します。たとえばプリンタを共有している場合、前に印刷していた人がそれらのエラーを発生させても、一定時間後には他の人の印刷を継続して印刷できます。初期設定は**「オフ」**（自動継続印刷しない）です。

継続印刷可能なエラー：

- 「メモリオーバーフロー カイジョ ヲ オシテクダサイ」
- 「プリント オーバーラン カイジョ ヲ オシテクダサイ」
- 「KPDL エラー ## カイジョ ヲ オシテクダサイ」
- 「ファイル ガ アリマセン カイジョ ヲ オシテクダサイ」
- 「ハードディスクエラー ## カイジョ ヲ オシテクダサイ」
- 「RAM ディスクエラー ## カイジョ ヲ オシテクダサイ」
- 「メモリカード エラー ## カイジョ ヲ オシテクダサイ」
- 「ブモンシテイガ チガイマス カイジョヲ オシテクダサイ」
- 「インサツセイゲンヲ コエマシタ カイジョヲ オシテクダサイ」
- 「ブモンカンリセッテイエラー ## カイジョヲ オシテクダサイ」
- 「リョウメンインサツデキマセン カイジョ ヲ オシテクダサイ」
- 「ジョブヲインサツデキマセン カイジョ ヲ オシテクダサイ」
- 「フクスウインサツ デキマセン カイジョ ヲ オシテクダサイ」
- 「USB メモリ エラー ## カイジョ ヲ オシテクダサイ」

継続印刷が可能なエラーが発生してから印刷を再開するまでの時間は、次の**エラークリアの復帰時間の設定**で行ってください。

1 「＞ジカン＞」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「＞＞オート エラー クリア 」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押してください。**「？」**が点滅します。

>オート エラー クリア ? オフ

4 ［△］または［▽］キーを押して、**「オン」**または**「オフ」**を選択してください。

5 ［**実行**］キーを押してください。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリント デキマス」**に戻ります。

「エラー クリア ジカン」（オートエラークリアの復帰時間の設定）

オートエラークリアを**「オン」**に設定した場合、継続印刷が可能なエラーが発生してから印刷を再開するまでの復帰時間を設定します。

1 「＞ジカン＞」表示中に、[▷] キーを押してください。

2 「＞＞エラー クリア ジカン」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

3 [実行] キーを押してください。カーソル（__）が点滅します。

```
>>エラー クリア ジカン
              030 sec.
```

4 [△] または [▽] キーを押すとカーソルが点滅している位置の数値が増減します。希望の時間を設定してください。設定時間は 5 秒単位で 005 ～ 495 秒の間で設定できます。[◁] または [▷] キーを押すとカーソルが左右に移動します。

5 [実行] キーを押してください。

6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリント デキマス」に戻ります。

「オートパネル リセット」（オートパネルリセットの設定）

オートパネルリセットは、一定時間操作がないと、設定内容が自動的にリセットされて初期値に戻る機能です。初期設定は「オン」（解除する）です。

リセットするまでの時間は、次の**パネルリセット時間の設定**で行ってください。

1 「＞ジカン＞」表示中に、[▷] キーを押してください。

2 「＞＞オートパネル リセット」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

3 [実行] キーを押してください。「？」が点滅します。

```
>>オートパネル リセット
?  オン
```

4 [△] または [▽] キーを押して、「オン」または「オフ」を選択してください。

5 [実行] キーを押してください。

6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリント デキマス」に戻ります。

「パネル リセット ジカン」（パネルリセット時間の設定）

オートパネルリセットを「オン」に設定した場合、操作終了後、オートリセットされるまでの時間を設定できます。初期設定では 120 秒です。

1 「＞ジカン＞」表示中に、[▷] キーを押してください。

2 「＞＞パネル リセット ジカン」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押してください。カーソル（__）が点滅します。

```
>>パネル リセット ジカン
              090 sec.
```

4 ［△］または［▽］キーを押すとカーソルが点滅している位置の数値が増減します。希望の時間を設定してください。設定時間は 5 秒単位で 005 ～ 495 秒の間で設定できます。［◁］または［▷］キーを押すとカーソルが左右に移動します。

5 ［**実行**］キーを押してください。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリント デキマス」**に戻ります。

「オートスリープ」（オートスリープの設定）

本機は、データの受信や印刷などの処理を行っていないときに、電力消費を抑えるオートスリープを搭載しています。初期設定は**「オン」**です。

1 **「>ジカン>」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「>>オートスリープ>」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押してください。**「?」**が点滅します。

```
>>オートスリープ
?  オン
```

4 ［△］または［▽］キーを押して、**「オン」**または**「オフ」**を選択してください。

5 ［**実行**］キーを押してください。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリント デキマス」**に戻ります。

「セキュリティ」（セキュリティ機能の設定）

本機の操作およびデータを保護するため、セキュリティ機能の設定ができます。

セキュリティ機能の設定には以下の項目があります。

- **「ID」**（管理者 ID の入力）
- **「パスワード」**（管理者パスワードの入力）
- **「インタフェース ブロック」**（インタフェース（外部機器）ブロックの設定）
- **「NetWare」**（NetWare の設定）
- **「AppleTalk」**（AppleTalk の設定）
- **「IPP」**（IPP の設定）
- **「SSL サーバ」**（SSL サーバの設定）
- **「IPSec」**（IPSec の設定）
- **「セキュリティ レベル」**（セキュリティレベルの設定）

1 ［**メニュー**］キーを押してください。

2 **「セキュリティ ＞」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

```
セキュリティ              >
```

「ID」（管理者 ID の入力）

セキュリティ機能を設定するには、管理者 ID の入力が必要です。管理者 ID の設定手順は、**「カンリシャ」（管理者の設定）**を参照してください。

1 **「セキュリティ＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「ID」が表示され、カーソル（_）が点滅します。

```
ID
_
```

3 ［△］または［▽］キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。設定された ID を入力してください。［◁］または［▷］キーを押すとカーソルが左右に移動します。ID は 1 ～ 16 桁の数字で入力してください。

4 ［**実行**］キーを押してください。次の手順**「パスワード」（管理者パスワードの入力）**へ移ります。

「パスワード」（管理者パスワードの入力）

セキュリティ機能を設定するには、管理者 ID の入力の後、管理者パスワードの入力が必要です。管理者パスワードの設定手順は、**「カンリシャ」（管理者の設定）**を参照してください。

1 前の手順**「ID」（管理者 ID の入力）**で正しい ID を入力すると、**「パスワード」（管理者パスワードの入力）**が表示され、カーソル（__）が点滅します。

```
パスワード
_
```

2 ［△］または［▽］キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。設定されたパスワードを入力してください。［◁］または［▷］キーを押すとカーソルが左右に移動します。パスワードは 0（設定なし）～ 16 桁の数字で入力してください。

参考：ID とパスワードの入力後、照合が行われます。間違った管理者 ID やパスワードの場合、**「ID エラー」**もしくは**「パスワード エラー」**が表示され、入力画面に戻ります。正しい ID とパスワードを入力し直してください。

---

3 ［**実行**］キーを押してください。セキュリティ機能設定画面に移ります。

「インタフェース ブロック」（インタフェース（外部機器）ブロックの設定）

インタフェースをブロックして、保護することができます。インタフェースブロックの設定には以下の項目があります。

- **「USB ホスト」**（USB メモリスロットの設定）
- **「USB デバイス」**（USB インタフェースの設定）
- **「オプション インタフェース」**（ネットワーク インタフェース（NIC：Network Interface Card）の設定）

1 管理者 ID とパスワード入力後、**「＞インタフェース ブロック＞」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

```
>インタフェース ブロック>
```

「USB ホスト」（USB メモリスロットの設定）

USB メモリスロット（USB ホスト）をブロックして保護します。初期設定は**「ブロック シナイ」**です。

1 **「＞インタフェース ブロック＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。**「＞＞ USB ホスト」**が表示されます。

2 ［**実行**］キーを押してください。**「？」**が点滅します。

```
>>USBホスト
? ブロック シナイ
```

3 ［△］または［▽］キーを押して、**「ブロック スル」**または**「ブロック シナイ」**を選択してください。

4 ［**実行**］キーを押してください。

5 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリント デキマス」**に戻ります。

「USB デバイス」（USB インタフェースの設定）

USB インタフェースをブロックして保護します。初期設定は**「ブロック シナイ」**です。

1 **「＞インタフェース ブロック＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。**「＞＞ USB デバイス」**が表示されます。

2 **［実行］**キーを押してください。**「？」**が点滅します。

```
>>ＵＳＢデバイス
?　ブロック シナイ
```

3 ［△］または［▽］キーを押して、**「ブロック スル」**または**「ブロック シナイ」**を選択してください。

4 **［実行］**キーを押してください。

5 **［メニュー］**キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリント デキマス」**に戻ります。

「オプション インタフェース」（ネットワーク インタフェース（NIC：Network Interface Card）の設定）

ネットワーク インタフェース（NIC）をブロックして保護します。初期設定は**「ブロック シナイ」**です。

注意：「オプション インタフェース」は、ネットワークインタフェースが装着されている場合のみ表示されます。

---

1 **「＞インタフェース ブロック＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。**「＞＞オプション インタフェース」**が表示されます。

2 **［実行］**キーを押してください。**「？」**が点滅します。

```
>>オプション インタフェース
?ブロック シナイ
```

3 ［△］または［▽］キーを押して、**「ブロック スル」**または**「ブロック シナイ」**を選択してください。

4 **［実行］**キーを押してください。

5 **［メニュー］**キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリント デキマス」**に戻ります。

「NetWare」（NetWare の設定）

NetWare（ネットウェア）は、PC で動作するサーバ専用のネットワーク・オペレーティング・システムです。

NetWare は、クライアント・サーバ型のシステムであり、サーバ機に NetWare OS を、クライアント機（MS-DOS、OS/2、Windows など）に専用のクライアントモジュール（NetWare クライアント）を導入して運用します。ネットワーク層のプロトコルは、独自の IPX (Internetwork Packet eXchange)/SPX (Sequenced Packet eXchange) を用いるのが基本ですが、TCP/IP にも対応しています。

NetWare OS の特徴は、完全にサーバ用途に特化しており、Windows NT や UNIX などの汎用 OS とは異なります。サーバ機の NetWare OS のコンソールからはサーバの運用に必要な最低限の操作しかできず、基本的にサーバやファイルの管理はクライアント機から管理ツールを用いて行います。また、ドライバやプロトコルスタックなどがすべて NetWare Loadable Module (NLM) というモジュール形式になっており、NLM の動的なロード・アンロードが自在に行えることも大きな特徴です。

初期設定は「**オン**」です。

参考：ネットワークの設定は、ネットワーク管理者に確認してください。

1 管理者 ID とパスワード入力後、「＞ NetWare ＞」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

```
>NetWare          >
```

2 ［**実行**］キーを押してください。「**？**」が点滅します。

```
>NetWare          >
?  オフ
```

3 ［△］または［▽］キーを押して、「**オン**」または「**オフ**」を選択してください。

4 ［**実行**］キーを押してください。

5 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

「フレーム タイプ」（フレームタイプの設定）

NetWare のフレームタイプを設定します。フレームとは、ネットワークを流れるひとかたまりのデータを示します。初期設定は「**ジドウ**」です。

1 「＞ NetWare **オン**＞」表示中に、［▷］キーを押してください。「＞＞**フレーム タイプ**」が表示されます。

2 ［**実行**］キーを押してください。「**？**」が点滅します。

```
>>フレーム タイプ
?  ジドウ
```

3 ［△］または［▽］キーを押して希望するフレームタイプを表示させて、［**実行**］キーを押してください。表示されるタイプは次のとおりです。

- **「ジドウ」**（自動選択）
- 「802.3」
- 「Ethernet-II」
- 「802.2」
- 「SNAP」

4 ［**実行**］キーを押してください。

5 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリント デキマス」**に戻ります。

「AppleTalk」（AppleTalk の設定）

AppleTalk（アップルトーク）は、主に Macintosh で使用されている通信プロトコル、または Mac OS のネットワーク機能を示します。

AppleTalk は 24 ビットのネットワークアドレス（16 ビットのネットワーク部と 8 ビットのノードアドレス）を実装し、ネットワーク上で各機器（PC やプリンタなど）の識別に利用します。

電源を投入すると、ブロードキャスト信号をネットワーク上に流し、自動的にアドレスとマシン名を割り当てます。

初期設定は**「オン」**です。

参考：ネットワークの設定は、ネットワーク管理者に確認してください。

1 管理者 ID とパスワード入力後、「＞ AppleTalk ＞」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

```
>AppleTalk
```

2 ［**実行**］キーを押してください。**「？」**が点滅します。

```
>AppleTalk
?  オフ
```

3 ［△］または［▽］キーを押して、**「オン」**または**「オフ」**を選択してください。

4 ［**実行**］キーを押してください。

5 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリント デキマス」**に戻ります。

「IPP」（IPP の設定）

IPP（Internet Printing Protocol、インターネット プリンティング プロトコル）は、インターネット網に代表される TCP/IP ネットワークを利用して、遠隔地にあるプリンタと PC の間で印刷データなどのやりとりを行うための規格です。

Web ページの閲覧に使われる HTTP を拡張した規格であり、ルータによって隔てられた遠隔地のプリンタに対しても印刷操作を行うことが可能になります。また、HTTP の認証機構や、SSL によるサーバ認証、クライアント認証、および暗号化にも対応しています。

初期設定は**「オフ」**です。

参考：ネットワークの設定は、ネットワーク管理者に確認してください。

1 管理者 ID とパスワード入力後、「＞ IPP ＞」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

```
＞IPP            ＞
```

2 ［実行］キーを押してください。「？」が点滅します。

```
＞IPP            ＞
？ オフ
```

3 ［△］または［▽］キーを押して、**「オン」**または**「オフ」**を選択してください。

4 ［実行］キーを押してください。

5 ［メニュー］キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリント デキマス」**に戻ります。

「SSL サーバ」（SSL サーバの設定）

SSL（Secure Sockets Layer）はネットワーク上で情報を暗号化して送受信するプロトコルを示します。現在、インターネットで広く使われている WWW や FTP などのデータを暗号化し、プライバシーに関わる情報やクレジットカード番号、企業秘密などを安全に送受信することができます。

SSL サーバは、このプロトコルを使用し、サーバおよびクライアントの認証を行います。

初期設定は**「オフ」**です。

参考：ネットワークの設定は、ネットワーク管理者に確認してください。

1 管理者 ID とパスワード入力後、「＞ SSL サーバ＞」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

```
＞SSL サーバ       ＞
```

2 ［実行］キーを押してください。「**？**」が点滅します。

```
>SSL サーバ         >
?  オフ
```

3 ［△］または［▽］キーを押して、「**オン**」または「**オフ**」を選択してください。

4 ［実行］キーを押してください。

5 ［メニュー］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

「DES」（SSL サーバの DES 設定）

DES（Data Encryption Standard）は、代表的な共通鍵暗号アルゴリズムで、データを 64 ビット長のブロックに分割し、各ブロックを 56 ビット長の鍵で暗号化する共通鍵暗号方式を使用しています。

参考：共通鍵暗号方式では、暗号鍵と復号鍵が共通なため、暗号情報をやり取りする双方で鍵を共有する。したがって鍵の漏えいを防ぐために、鍵の受け渡しや保管などにおいて厳重な管理が必要となります。

初期設定は「**オフ**」です。

1 「**> SSL サーバ オン>**」表示中に、［▷］キーを押してください。「**>> DES**」が表示されます。

2 ［実行］キーを押してください。「**？**」が点滅します。

```
>>DES
?  オフ
```

3 ［△］または［▽］キーを押して、「**オン**」または「**オフ**」を選択してください。

4 ［実行］キーを押してください。

5 ［メニュー］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

「3DES」（SSL サーバの 3DES 設定）

3DES（Triple Data Encryption Standard）は、DES を 3 重に繰り返すことで、暗号強度を高めています。

初期設定は「**オフ**」です。

1 「**> SSL サーバ オン>**」表示中に、［▷］キーを押してください。「**>> 3DES**」が表示されます。

2 ［**実行**］キーを押してください。「**？**」が点滅します。

```
>>3DES
?  オフ
```

3 ［△］または［▽］キーを押して、「**オン**」または「**オフ**」を選択してください。

4 ［**実行**］キーを押してください。

5 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

「AES」（SSL サーバの AES 設定）

AES（Advanced Encryption Standard）は、DES の安全性が低下してきたことを背景に、DES に代わる標準暗号として開発されました。AES は、SPN 構造（繰返し暗号の代表的な構成法）を採用したブロック長 128 ビットのブロック暗号で、鍵長は 128 ビット、192 ビット、256 ビットの 3 つを選択できます。

初期設定は「**オフ**」です。

1 「**＞ SSL サーバ オン＞**」表示中に、［▷］キーを押してください。「**＞＞ AES**」が表示されます。

2 ［**実行**］キーを押してください。「**？**」が点滅します。

```
>>AES
?  オフ
```

3 ［△］または［▽］キーを押して、「**オン**」または「**オフ**」を選択してください。

4 ［**実行**］キーを押してください。

5 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

「IPP over SSL」（SSL サーバの IPP over SSL 設定）

IPP over SSL は、ネットワークにおける印刷で、ユーザとサーバ間の通信を SSL を使って暗号化する機能のことです。IPP over SSL を利用するには、サーバとクライアントがともに対応している必要があります。

初期設定は「**オフ**」です。

1 「**＞ SSL サーバ オン＞**」表示中に、［▷］キーを押してください。「**＞＞ IPP over SSL**」が表示されます。

2 ［**実行**］キーを押してください。「**？**」が点滅します。

```
>>IPP over SSL
?  オフ
```

3 ［△］または［▽］キーを押して、「**オン**」または「**オフ**」を選択してください。

4 ［**実行**］キーを押してください。

5 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

「HTTPS」（SSL サーバの HTTPS 設定）

HTTPS（HyperText Transfer Protocol Secure）は、 WWW サーバとクライアントの間でデータ転送を行う HTTP に SSL によるデータの暗号化、メッセージ認証、ディジタル署名の機能を付加したプロトコルのことです。

同様のプロトコルに S-HTTP がありますが、HTTPS は、SSL を利用しているという点が異なります。

初期設定は「**オフ**」です。

1 「**＞ SSL サーバ オン＞**」表示中に、［▷］キーを押してください。「**＞＞ HTTPS**」が表示されます。

2 ［**実行**］キーを押してください。「**？**」が点滅します。

```
>>HTTPS
?  オフ
```

3 ［△］または［▽］キーを押して、「**オン**」または「**オフ**」を選択してください。

4 ［**実行**］キーを押してください。

5 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

「IPSec」（IPSec の設定）

IPSec（IP Security Protocol）は、IETF で標準化された第 3 層のネットワーク層（IP 層）での認証および暗号化を行うためのセキュリティ プロトコルのことです。

IPv4 と IPv6 の双方に適用ができます。

参考：IPv4 では、IP アドレスに 32 ビットが使用され、IPv6 では、128 ビットが使用されます。

初期設定は「**オフ**」です。

参考：ネットワークの設定は、ネットワーク管理者に確認してください。

---

1 管理者 ID とパスワード入力後、「**＞ IPSec ＞**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

```
>IPSec              >
```

2 ［**実行**］キーを押してください。「**？**」が点滅します。

```
＞IPSec         ＞
?  オフ
```

3 ［△］または［▽］キーを押して、「**オン**」または「**オフ**」を選択してください。

4 ［**実行**］キーを押してください。

5 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

「セキュリティ レベル」（セキュリティレベルの設定）

「**セキュリティ レベル**」（セキュリティレベルの設定）は、主にサービス担当者がメンテナンスするために操作するメニューです。お客様が操作をする必要はありません。

「ブモンカンリ」（部門管理の選択・設定）

部門管理は、部門コードを入力することにより、部門別の使用枚数を管理できる機能です。

本機の部門管理には次の特長があります。

- 最大 100 部門までの管理ができます。
- 部門コードは、1 ～ 99999999 までの最大 8 桁を入力できます。
- 同じ部門コードで、印刷をまとめて管理できます。
- 使用枚数を部門ごとに集計することができます。
- 使用枚数を 1 ～ 9,999,999 枚の範囲で制限することができます。
- 使用枚数を部門ごとにリセットすることができます。

部門管理の選択・設定には以下の項目があります。

- **「ID」**（管理者 ID の入力）
- **「パスワード」**（管理者パスワードの入力）
- **「ブモンカンリ」**（部門管理の ON・OFF 設定）
- **「ブモン ノ センタク」**（部門別の設定）
- **「ブモン ノ トウロク」**（部門の登録）
- **「ブモン ノ サクジョ」**（部門の削除）
- **「ブモンカンリリスト ノ インサツ」**（部門管理リストの出力）

注意：「ブモン ノ センタク」および**「ブモン ノ サクジョ」**は、部門コードが登録されている場合に表示されます。また、**「ブモン ノ トウロク」**は、登録部門数が最大を超えていない場合に表示されます。

1 ［**メニュー**］キーを押してください。

2 **「ブモンカンリ ＞」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

```
ブモンカンリ        >
```

「ID」（管理者 ID の入力）

部門管理を設定するには、管理者 ID の入力が必要です。管理者 ID の設定手順は、**「カンリシャ」（管理者の設定）**を参照してください。

1 **「ブモンカンリ＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「ID」**が表示され、カーソル（__）が点滅します。

```
I D
_
```

3 ［△］または［▽］キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。設定された ID を入力してください。［◁］または［▷］キーを押すとカーソルが左右に移動します。ID は 1 〜 16 桁の数字で入力してください。

4 ［**実行**］キーを押してください。次の手順**「パスワード」（管理者パスワードの入力）**へ移ります。

「パスワード」（管理者パスワードの入力）

部門管理を設定するには、管理者 ID の入力の後、管理者パスワードの入力が必要です。管理者パスワードの設定手順は、**「カンリシャ」（管理者の設定）**を参照してください。

1 前の手順**「ID」（管理者 ID の入力）**で正しい ID を入力すると、**「パスワード」（管理者パスワードの入力）**が表示され、カーソル（__）が点滅します。

パスワード —

2 ［△］または［▽］キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。設定されたパスワードを入力してください。［◁］または［▷］キーを押すとカーソルが左右に移動します。パスワードは 0 〜 16 桁の数字で入力してください。

参考：ID とパスワードの入力後、照合が行われます。間違った管理者 ID やパスワードの場合、**「ID エラー」**もしくは**「パスワード エラー」**が表示され、入力画面に戻ります。正しい ID とパスワードを入力し直してください。

---

3 ［**実行**］キーを押してください。部門管理の選択・設定の画面に移ります。

「ブモンカンリ」（部門管理の設定）

部門管理の機能をオン・オフ設定できます。初期設定は**「オフ」**です。

1 管理者 ID とパスワード入力後、**「＞ブモンカンリ」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

2 ［**実行**］キーを押してください。**「？」**が点滅します。

＞ブモンカンリ ？　オフ

3 ［△］または［▽］キーを押して、**「オン」**または**「オフ」**を選択してください。

4 ［**実行**］キーを押してください。

5 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリント デキマス」**に戻ります。

部門管理がオンの場合

部門管理をオンにすると、ステータスページやリストを取り出すときに部門コードを入力する画面が表示されます。

1 部門コードを入力する画面で、カーソル（__）が点滅します。

```
ブモンヲ シテイシテクダサイ
_
```

2 ［△］または［▽］キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。設定された部門コードを入力してください。［◁］または［▷］キーを押すとカーソルが左右に移動します。コードは 1 〜 8 桁の数字で入力してください。

参考：間違った部門コードを入力すると、再び入力画面に戻ります。正しいコードを入力し直してください。

3 ［**実行**］キーを押してください。部門が確定され、印刷が始まります。

「ブモン ノ センタク」（部門別の設定）

部門コード別に管理する各種機能の設定をします。

部門別の設定には以下の項目があります。

- **「カウンタ ノ ヒョウジ」**（部門別カウンタ（カラー・白黒合計）の枚数管理）
- **「カラー カウンタ ヒョウジ」**（部門別カウンタ（カラー）の枚数管理）
- **「セイゲン シュルイ」**（印刷制限（カラー・白黒合計）の選択）
- **「カラー セイゲン シュルイ」**（印刷制限（カラー）の選択）
- **「インサツセイゲン」**（印刷制限（カラー・白黒合計）枚数の設定）
- **「カラー インサツセイゲン」**（印刷制限（カラー）枚数の設定）
- **「カウンタ ノ リセット」**（カウンタの初期化）

1 **「ブモンカンリ＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「＞ブモン ノ センタク＞」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押してください。**「？」**が点滅します。

```
＞ブモン ノ センタク　　＞
？00000000
```

4 ［△］または［▽］キーを押すと、登録されている部門コードが循環して表示されます。

5 希望の部門コードを表示させて、［**実行**］キーを押してください。［▷］キーを押すと、部門別の設定画面に移ります。

「カウンタ ノ ヒョウジ」（部門別カウンタ（カラー・白黒合計）の枚数管理）

現在選択されている部門の全印刷枚数を表示します。

注意：部門別カウンタは、表示のみで変更はできません。

1 部門コードを確定後、「**>>カウンタ ノ ヒョウジ**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。（例：100）

```
>>カウンタ ノ ヒョウジ
              0000100
```

カウンタの表示は、0000000 〜 9999999 です。

2 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

「カラー カウンタ ヒョウジ」（部門別カウンタ（カラー）の枚数管理）

現在選択されている部門のカラー印刷枚数を表示します。

注意：部門別カウンタは、表示のみで変更はできません。

1 部門コードを確定後、「**>>カラー カウンタ ヒョウジ**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。（例：50）

```
>>カウンタ ノ ヒョウジ
              0000050
```

カウンタの表示は、0000000 〜 9999999 です。

2 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

「セイゲン シュルイ」（印刷制限（カラー・白黒合計）の選択）

現在選択されている部門の全印刷における制限機能を設定します。使用制限すると、部門ごとに使用を禁止したり使用できる枚数を制限したりすることができます。

1 部門コードを確定後、「**>>セイゲン シュルイ**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

2 ［**実行**］キーを押してください。「**?**」が点滅します。

```
>>セイゲン　シュルイ
?　セイゲンナシ
```

3 ［△］または［▽］キーを押して、使用制限の種類を選んでください。表示される使用制限は以下の通りです。

- 「**セイゲンナシ**」（制限をしない場合）
- 「**カウンタ**」（枚数制限をする場合）
- 「**インサツ キンシ**」（印刷を禁止する場合）

4 ［**実行**］キーを押してください。使用制限が設定されます。

5 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

「カラー セイゲン シュルイ」（印刷制限（カラー）の選択）

現在選択されている部門のカラー印刷における制限機能を設定します。使用制限すると、部門ごとに使用を禁止したり使用できる枚数を制限したりすることができます。

1 部門コードを確定後、「>>カラー セイゲン シュルイ」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

2 ［実行］キーを押してください。「？」が点滅します。

```
>>カラー セイゲン　シュルイ
?　セイゲンナシ
```

3 ［△］または［▽］キーを押して、使用制限の種類を選んでください。表示される使用制限は以下の通りです。

- 「セイゲンナシ」（制限をしない場合）
- 「カウンタ」（枚数制限をする場合）
- 「インサツ キンシ」（印刷を禁止する場合）

4 ［実行］キーを押してください。使用制限が設定されます。

5 ［メニュー］キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリント デキマス」に戻ります。

「インサツセイゲン」（印刷制限（カラー・白黒合計）枚数の設定）

現在選択されている部門における全印刷の印刷枚数を制限します。

1 部門コードを確定後、「>>インサツセイゲン」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

2 ［実行］キーを押してください。カーソル（__）が点滅します。

```
>>インサツセイゲン
          0000001
```

3 ［△］または［▽］キーを押すとカーソルが点滅している位置の数値が増減します。希望の枚数を設定してください。設定枚数は 0000001 ～ 9999999 の間で設定できます。［◁］または［▷］キーを押すとカーソルが左右に移動します。

4 ［実行］キーを押してください。

5 ［メニュー］キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリント デキマス」に戻ります。

「カラー インサツセイゲン」（印刷制限（カラー）枚数の設定）

現在選択されている部門におけるカラー印刷の印刷枚数を制限します。

1 部門コードを確定後、「>>カラー インサツセイゲン」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

2 ［実行］キーを押してください。カーソル（_）が点滅します。

>>カラー インサツセイゲン 0000001

3 ［△］または［▽］キーを押すとカーソルが点滅している位置の数値が増減します。希望の枚数を設定してください。設定枚数は 0000001 ～ 9999999 の間で設定できます。［◁］または［▷］キーを押すとカーソルが左右に移動します。

4 ［実行］キーを押してください。

5 ［メニュー］キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリント デキマス」に戻ります。

「カウンタ ノ リセット」（カウンタの初期化）

現在選択されている部門のカウンタ（使用枚数）をリセットします。

1 部門コードを確定後、「>>カウンタ ノ リセット」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

2 ［実行］キーを押してください。「？」が点滅します。

>>カウンタ ノ リセット?

3 ［実行］キーを押してください。カウンタが初期化されます。

4 ［メニュー］キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリント デキマス」に戻ります。

「ブモン ノ トウロク」（部門の登録）

印刷を許可する新しい部門を登録することができます。

注意：部門コードは、数字列で管理されますので、「1」と「001」は区別され違う部門として管理されます。また、部門管理がオンの場合、印刷データをどの部門で印刷するかの情報を付加しないと出力されません。

1 「ブモンカンリ>」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「>ブモン ノ トウロク」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［実行］キーを押してください。カーソル（_）が点滅します。

>ブモン ノ トウロク _

4 ［△］または［▽］キーを押すとカーソルが点滅している位置の数値が増減します。希望のコードを設定してください。設定は 1 ～ 8 桁の数字で設定できます［◁］または［▷］キーを押すとカーソルが左右に移動します。

参考：すでに存在する部門コードを重複して入力すると、**「ブモン ノ トウロク ガ デキマセン」**が表示され、入力画面に戻ります。新しいコードを入力し直してください。

5 ［**実行**］キーを押してください。部門の登録が完了します。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリント デキマス」**に戻ります。

「ブモン ノ サクジョ」（部門の削除）

登録している部門を削除することができます。

注意：部門コードは、数字列で管理されますので、「1」と「001」は区別され違う部門として管理されます。また、部門管理がオンの場合、印刷データをどの部門で印刷するかの情報を付加しないと出力されません。

1 **「ブモンカンリ＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「＞ブモン ノ サクジョ」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押してください。**「？」**が点滅します。（例：001）

```
＞ブモン ノ サクジョ
？００１
```

4 ［△］または［▽］キーを押すと、登録されている部門コードが循環して表示されます。

5 希望の部門コードを表示させて、［**実行**］キーを押してください。部門コードが削除されます。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリント デキマス」**に戻ります。

「ブモンカンリリスト ノ インサツ」（部門管理リストの出力）

全部門で集計された枚数を、部門管理リストとして印刷できます。

1 **「ブモンカンリ＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「＞ブモンカンリリスト ノ インサツ」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押してください。**「？」**が点滅します。

```
＞ブモンカンリリスト ノ
インサツ？
```

4 ［**実行**］キーを押すと、**「データ ショリチュウデス」**が表示され印刷が開始されます。

5　［メニュー］キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリント デキマス」に戻ります。

「カンリシャ」（管理者の設定）

管理者の設定は、本機を使用できるユーザを特定し、使用者を管理することができる機能です。入力された管理者 ID と管理者パスワードで認証が行われ、本機のセキュリティ機能および部門管理の使用が可能になります。

管理者の設定には以下の項目があります。

- 「ID」（管理者 ID の入力）
- 「パスワード」（管理者パスワードの入力）
- 「ID ノ　ヘンコウ」（管理者 ID の変更）
- 「パスワード ノ ヘンコウ」（管理者パスワードの変更）

1 ［メニュー］キーを押してください。

2 「カンリシャ＞」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

カンリシャ　＞

「ID」（管理者 ID の入力）

管理者 ID を設定できます。工場出荷時は、モデル名（数字）となっています。例えば、FS-C5300DN の場合、「5300」となります。

1 「カンリシャ＞」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「ID」が表示され、カーソル（__）が点滅します。

ＩＤ
—

3 ［△］または［▽］キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。設定された ID を入力してください。［◁］または［▷］キーを押すとカーソルが左右に移動します。ID は 1 ～ 16 桁の数字で入力してください。

4 ［実行］キーを押してください。次の手順「パスワード」（管理者パスワードの入力）へ移ります。

「パスワード」（管理者パスワードの入力）

管理者パスワードを設定できます。工場出荷時は、モデル名（数字）となっています。例えば、FS-C5300DN の場合、「5300」となります。

1 前の手順「ID」（管理者 ID の入力）で ID を入力すると、「パスワード」（管理者パスワードの入力）が表示され、カーソル（__）が点滅します。

パスワード
—

2 ［△］または［▽］キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。設定されたパスワードを入力してください。［◁］または［▷］キーを押すとカーソルが左右に移動します。パスワードは 0 ～ 16 桁の数字で入力してください。

参考：ID とパスワードの入力後、照合が行われます。間違った管理者 ID やパスワードの場合、「ID エラー」もしくは「パスワード エラー」が表示され、入力画面に戻ります。正しい ID とパスワードを入力し直してください。

3 正しい ID とパスワードを入力すると、管理（変更）画面が表示されます。（例：管理者 ID が 00000001 の場合）

［△］または［▽］キーを押すと、以下の変更項目が循環して表示されます。

```
>ID ノ　ヘンコウ
00000001
```

- 「ID ノ ヘンコウ」
- 「パスワード ノ ヘンコウ」

参考：変更が必要な場合、次の「ID ノ ヘンコウ」および「パスワード ノ ヘンコウ」の手順を参照してください。

4 変更がなければ、［実行］キーを押してください。管理者 ID とパスワードが確定します。

5 ［メニュー］キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリント デキマス」に戻ります。

「ID ノ ヘンコウ」（管理者 ID の変更）

管理者 ID の変更ができます。

1 上記「パスワード」の手順 3 で、管理（変更）画面を表示中に、［△］または［▽］キーを押して、「ID ノ ヘンコウ」画面を表示させてください。（例：管理者 ID が 001 の場合）

```
>ID ノ　ヘンコウ
001
```

2 ［実行］キーを押すと、カーソル（_）が点滅します。

```
>ID ノ　ヘンコウ
_
```

3 ［△］または［▽］キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。変更する ID を入力してください。［◁］または［▷］キーを押すとカーソルが左右に移動します。ID は 1 ～ 16 桁の数字で入力してください。

4 ［実行］キーを押してください。確認画面が表示されます。（例：管理者 ID を 002 に変更した場合）

```
OK?
002
```

5 ［実行］キーを押してください。変更した管理者 ID が確定します。

6 ［メニュー］キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリント デキマス」に戻ります。

「パスワード ノ ヘンコウ」（管理者パスワードの変更）

管理者パスワードの変更ができます。

1 上記**「パスワード」**の手順3で、管理（変更）画面を表示中に、［△］または［▽］キーを押して、**「パスワード ノ ヘンコウ」**画面を表示させてください。

```
>パスワード ノ　ヘンコウ
■■■■■■■■■■■■■■
```

注意：管理者パスワードは表示されません。

2 ［**実行**］キーを押すと、カーソル（__）が点滅します。

```
>パスワード ノ　ヘンコウ
_
```

3 ［△］または［▽］キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。変更するパスワードを入力してください。［◁］または［▷］キーを押すとカーソルが左右に移動します。ID は 0 ～ 16 桁の数字で入力してください。

4 ［**実行**］キーを押してください。確認画面が表示されます。（例：管理者パスワードを 010 に変更した場合）

```
OK?
010
```

5 ［**実行**］キーを押してください。変更した管理者パスワードが確定します。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリント デキマス」**に戻ります。

「チョウセイ / メンテナンス」（調整 / メンテナンスの選択・設定）

調整 / メンテナンスの選択・設定では、印刷品質に関する調整や本機のメンテナンスを行います。

調整 / メンテナンスの選択・設定には以下の項目があります。

- **「カラー チョウセイ ノ ジッコウ」**（カラー調整）
- **「カラー イチ ホセイ ヒョウジュン」**（カラー印刷位置の補正（標準））
- **「カラー イチ ホセイ ショウサイ」**（カラー印刷位置の補正（詳細））
- **「プリンタ ノ サイキドウ」**（プリンタの再起動）
- **「サービス」**（保守・点検用）

注意：「サービス」は、主にサービス担当者がメンテナンスのために操作するメニューです。お客様が操作をする必要はありません。

---

1 ［**メニュー**］キーを押してください。

2 **「チョウセイ / メンテナンス＞」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

チョウセイ/メンテナンス＞

「カラー チョウセイ ノ ジッコウ」（カラー調整）

本機には、プリンタ周囲の温度や湿度、プリンタの経年変化などを補正して、最適なカラー印刷を行うよう調整する機能（キャリブレーション）があります。

カラー調整は、プリンタの電源を入れるごとに実行されます。また、スリープモードからの復帰時や印刷中にも自動的に実行されることがあります。手動でカラー調整を行う場合は、次の手順で行ってください。

1 **「チョウセイ / メンテナンス＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「＞カラー チョウセイ ノ ジッコウ」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押してください。**「？」**が表示されます。

＞カラー チョウセイ ノ
ジッコウ？

4 ［**実行**］キーを押すと、**「シバラク　オマチクダサイ（カラー チョウセイ チュウ）」**が表示されカラー調整が実行されます。

5 **終了すると、**メッセージディスプレイは**「プリント デキマス」**に戻ります。

「カラー イチ ホセイ ヒョウジュン」（カラー印刷位置の補正（標準））

プリンタを初めて設置したときや移動などで再設置したとき、または印刷時にマゼンタ、シアン、イエローの色ずれが起こる場合、次の手順で色ずれを補正してください。

カラー印刷位置の補正（標準）には以下の項目があります。

- **「ホセイ チャート ノ インサツ」**（カラーレジスト補正チャートの印刷）
- **「マゼンタ ノ ホセイ」**（マゼンタの補正）
- **「シアン ノ ホセイ」**（シアンの補正）
- **「イエロー ノ ホセイ」**（イエローの補正）

「ホセイ チャート ノ インサツ」（カラーレジスト補正チャートの印刷）

カラー印刷位置の補正に使用するカラーレジスト補正チャートが印刷できます。

1 **「チョウセイ / メンテナンス＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「＞カラー イチ ホセイ ヒョウジュン＞」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

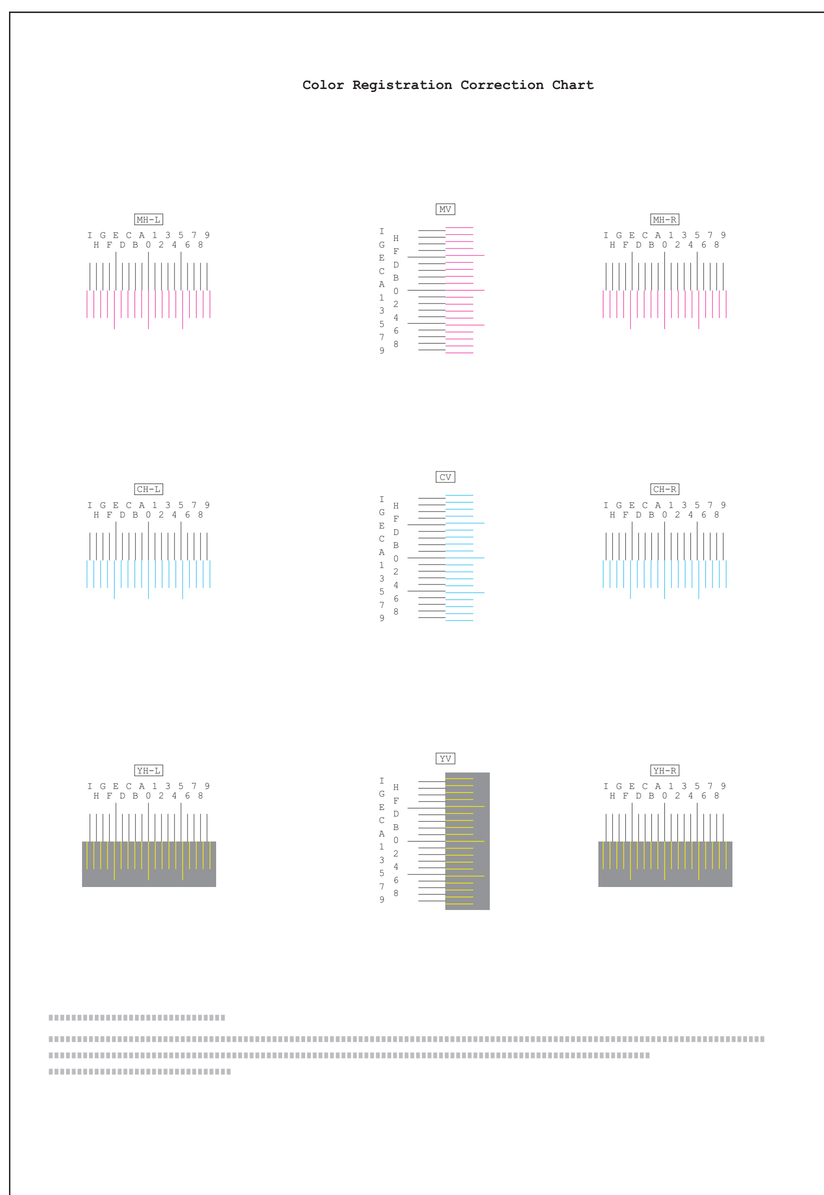
3 ［▷］キーを押してください。

4 **「＞＞ホセイ チャート ノ インサツ」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

5 ［**実行**］キーを押してください。**「？」**が表示されます。

```
>>ホセイ チャート ノ
  インサツ ？
```

6 ［**実行**］キーを押してください。**「データ　ショリチュウデス」**が表示され、次の図のカラーレジスト補正チャートが印刷されます。カラーレジスト補正チャートには、マゼンタ、シアン、イエローそれぞれに、L（左）、V（高さ）、R（右）のチャートが印刷されています。



7 終了すると、メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

「マゼンタ ノ ホセイ」（マゼンタの補正）

マゼンタ（赤）色の印刷位置の補正を行います

1 「**チョウセイ / メンテナンス＞**」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「**＞カラー イチ ホセイ ヒョウジュン＞**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

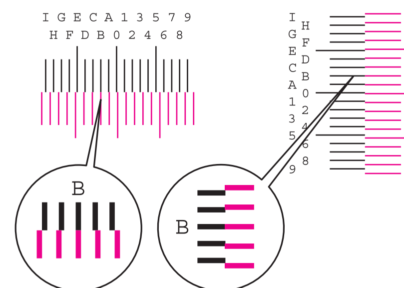
3 ［▷］キーを押してください。

4 「**＞＞マゼンタ ノ ホセイ**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

5 ［**実行**］キーを押してください。L、V、R の値に 0 が表示され、L の値でカーソル（_）が点滅します。

```
>>マゼンタ ノ ホセイ
 L=0  V=0  R=0
```

6 上記の「**ホセイ チャート ノ インサツ**」手順で印刷したカラーレジスト補正チャートで、マゼンタの L のチャートから、もっとも直線に近い部分の数値を読み取ってください。次の図の場合は B です。



7 ［△］または［▽］キーを押し、読み取った数値を表示させてください。

```
>>マゼンタ ノ ホセイ
L= B  V= 0  R= 0
```

8 ［◁］または［▷］キーを押すと、カーソルが左右に移動します。L の値と同様に、V と R の値をカラーレジスト補正チャートから読み取って、数値表示させてください。

9 ［**実行**］キーを押してください。「**ヨロシイデスカ？**」が表示されます。表示されている数値が正しければ、［**実行**］キーを押してください。シアンの設定が完了します。

引き続き、シアンとイエローの設定を行います。

「シアン ノ ホセイ」（シアンの補正）および「イエロー ノ ホセイ」（イエローの補正）

シアン（青）色およびイエロー（黄）色の印刷位置の補正を行います。

10 上記手順 9 でシアンの設定が終了したら、［▽］キーを押してください。「**>>シアン ノ ホセイ**」、「**>>イエロー ノ ホセイ**」が表示されますので、マゼンタ同様、シアンとイエローの数値を、カラーレジスト補正チャートから読み取って設定してください。

11 3 色の数値の設定が終了したら、［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

以上で、カラー印刷位置の補正（標準）は終了です。

参考：確認のため、もう一度カラーレジスト補正チャートを印刷してみてください。もっとも直線に近い部分の数値が 0 でない場合は、再度、上記の手順 4 からの設定を行ってください。

重要：補正を行っても色ずれが起こる場合は、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。

「カラー イチ ホセイ ショウサイ」（カラー印刷位置の補正（詳細））

カラー印刷位置の補正を、水平および垂直方向へ詳細に行うことができます。

カラー印刷位置の補正（詳細）には以下の項目があります。

- 「ホセイ チャート ノ インサツ」（カラーレジスト補正チャートの印刷）
- 「M 12345 3 」（マゼンタの補正）
- 「C 12345 3 」（シアンの補正）
- 「Y 12345 3 」（イエローの補正）

「ホセイ チャート ノ インサツ」（カラーレジスト補正チャートの印刷）

カラー印刷位置の補正に使用するカラーレジスト補正チャートが印刷できます。

1 「チョウセイ / メンテナンス＞」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「＞カラー イチ ホセイ ショウサイ＞」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

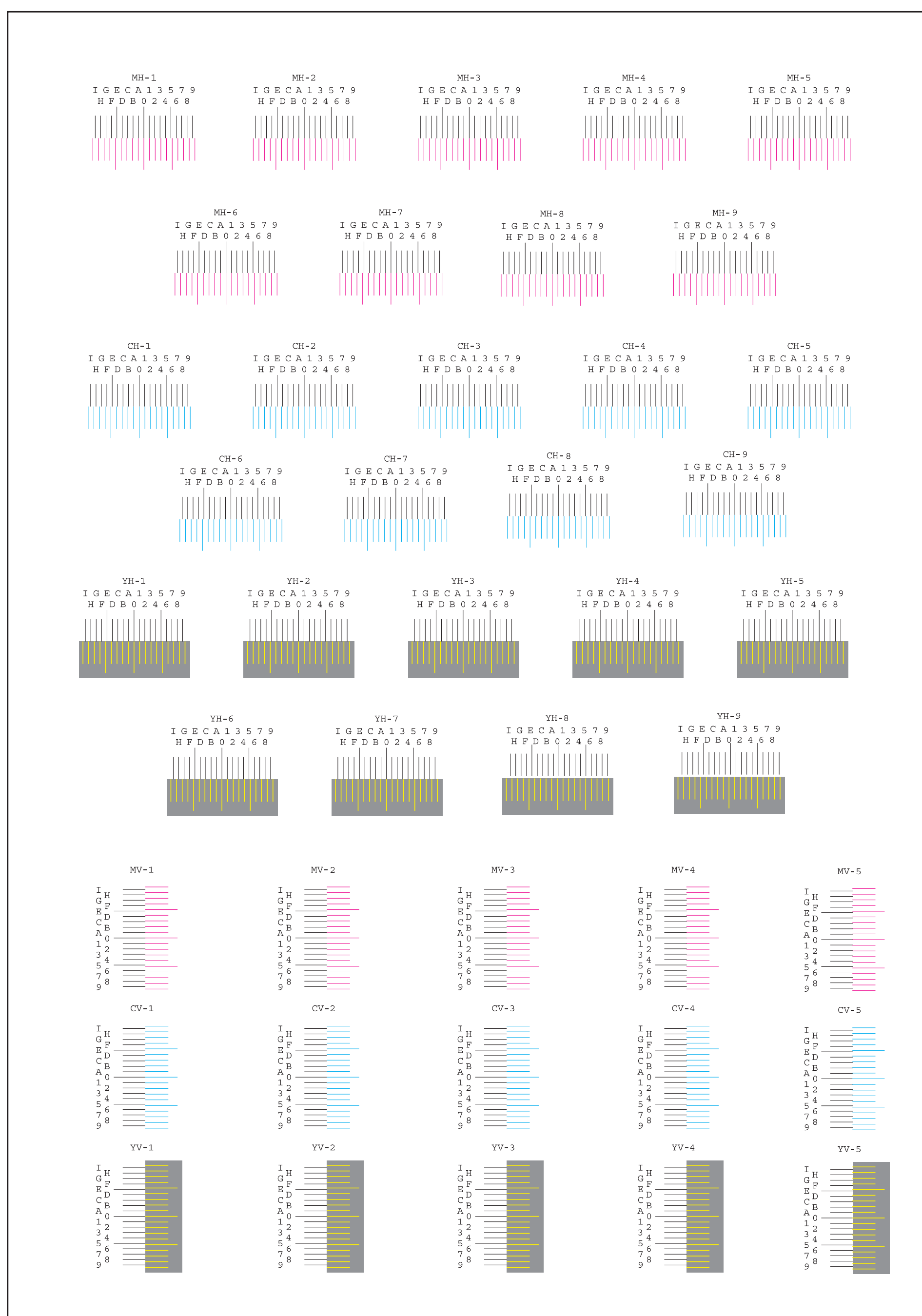
3 ［▷］キーを押してください。

4 「＞＞ホセイ チャート ノ インサツ」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

5 ［実行］キーを押してください。「？」が表示されます。

```
>>ホセイ チャート ノ
  インサツ ?
```

6 ［実行］キーを押してください。**「データ　ショリチュウデス」**が表示され、カラーレジスト補正チャートが印刷されます。カラーレジスト補正チャートには、シアン、マゼンタ、イエローそれぞれに、H（水平）、V（垂直）のチャートが印刷されています。



7 終了すると、メッセージディスプレイは**「プリント デキマス」**に戻ります。

「M 12345 3」（マゼンタの補正）

マゼンタ（赤）色の印刷位置の補正（詳細）を行います。

1 **「チョウセイ / メンテナンス＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「＞カラー イチ ホセイ ショウサイ＞」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

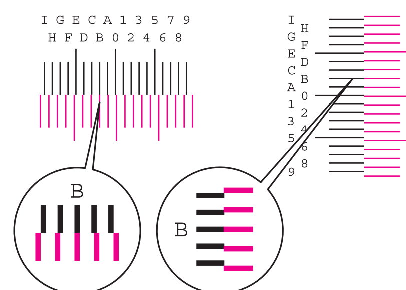
3 ［▷］キーを押してください。

4 「＞＞ M 12345 3」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

5 ［実行］キーを押してください。H、V の値に 00000 または 0 が表示され、H の値でカーソル（__）が点滅します。

```
>>M 12345      3
 MH=00000    MV=0
```

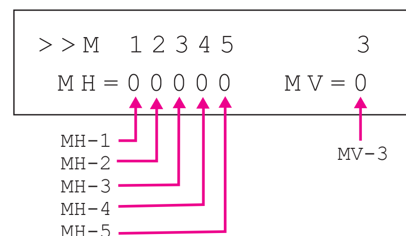
6 上記の「ホセイ チャート ノ インサツ」手順で印刷したカラーレジスト補正チャートで、シアンの H、V のチャートから、もっとも直線に近い部分の数値を読み取ってください。次の図の場合は B です。



7 ［△］または［▽］キーを押し、読み取った数値を表示させてください。

```
>>M 12345      3
  MH=B0000   MV=0
```

8 ［◁］または［▷］キーを押すと、カーソルが左右に移動します。H の値と同様に、V の値をカラーレジスト補正チャートから読み取って、数値表示させてください。



9 ［実行］キーを押してください。「ヨロシイデスカ？」が表示されます。表示されている数値が正しければ、［実行］キーを押してください。マゼンタの設定が完了します。

引き続き、シアンとイエローの設定を行います。

「C 12345 3」（シアンの補正）および「Y 12345 3」（イエローの補正）

シアン（青）色およびイエロー（黄）色の印刷位置の補正（詳細）を行います。

10 上記手順 9 でマゼンタの設定が終了したら、［▽］キーを押してください。「＞＞ C 12345 3」、「＞＞ Y 12345 3」が表示されますので、マゼンタ同様、シアンとイエローの数値を、カラーレジスト補正チャートから読み取って設定してください。

11 3 色の数値の設定が終了したら、［メニュー］キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリント デキマス」に戻ります。

以上で、カラー印刷位置の補正（詳細）は終了です。

参考：確認のため、もう一度カラーレジスト補正チャートを印刷してみてください。もっとも直線に近い部分の数値が 0 でない場合は、再度、上記の手順 4 からの設定を行ってください。

注意：補正を行っても色ずれが起こる場合は、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。

「プリンタ ノ サイキドウ」（プリンタの再起動）

RAM ディスクの設定や、インタフェースの設定を行ったときに、プリンタを再起動します。

1 **「チョウセイ / メンテナンス＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「＞プリンタ ノ サイキドウ」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押してください。**「？」**が表示されます。

＞プリンタ ノ サイキドウ？

4 もう一度、［**実行**］キーを押してください。プリンタの再起動中は「Self test」が表示されます。その後、表示は**「シバラク オマチクダサイ」**から**「プリント デキマス」**に戻ります。

「サービス」（保守・点検用）

保守・点検で使用する**「サービス」**には以下の項目があります。

- **「ステータスページ ノ インサツ」**（サービスステータスページの印刷）
- **「ネットワーク ステータス ノ インサツ」**（ネットワーク用ステータスページの印刷）
- **「テストページ ノ インサツ」**（テストページの印刷）
- **「メンテナンス」**（新メンテナンスキットへの交換確認の設定）
- 「DEV-CLN」（現像器・リフレッシュモードの設定）
- **「LSU/ チャージャ」**（LSU/ メインチャージャ清掃モードの設定）
- **「ドラム」**（ドラム / リフレッシュモードの設定）

注意：**「サービス」**は、主にサービス担当者がメンテナンスのために操作するメニューです。お客様が操作をする必要はありません。

1 **「チョウセイ / メンテナンス＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「＞サービス＞」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

＞サービス ＞

「ステータスページ ノ インサツ」（サービスステータスページの印刷）

サービスステータスページは、通常のステータスページよりも詳細なプリンタ設定情報が印刷されます。主にサービス担当者のメンテナンス用として使用しますが、必要に応じて印刷できます。

1 **「＞サービス＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「＞＞ステータスページ ノ インサツ」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押してください。**「？」**が表示されます。

```
>>ステータスページ ノ
  インサツ?
```

4 ［**実行**］キーを押してください。**「データ　ショリチュウデス」**が表示され、サービスステータスページが印刷されます。

5 終了すると、メッセージディスプレイは**「プリント デキマス」**に戻ります。

「ネットワーク ステータス ノ インサツ」（ネットワーク用ステータスページの印刷）

ネットワーク用ステータスページは、詳細なネットワーク設定情報が印刷されます。主にサービス担当者のメンテナンス用として使用しますが、必要に応じて印刷できます。

1 **「＞サービス＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「＞＞ネットワーク ステータス ノ インサツ」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押してください。**「？」**が表示されます。

```
>>ネットワーク ステータス ノ
  インサツ?
```

4 ［**実行**］キーを押してください。**「データ　ショリチュウデス」**が表示され、ネットワーク用ステータスページが印刷されます。

5 終了すると、メッセージディスプレイは**「プリント デキマス」**に戻ります。

「テストページ ノ インサツ」（テストページの印刷）

テストページは、本機の調整結果を確認するために印刷します。主にサービス担当者のメンテナンス用として使用しますが、必要に応じて印刷できます。

1 **「＞サービス＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「＞＞テストページ ノ インサツ」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［実行］キーを押してください。「？」が表示されます。

```
>>テストページ
 ノ インサツ？
```

4 ［実行］キーを押してください。「データ　ショリチュウデス」が表示され、テストページが印刷されます。

5 終了すると、メッセージディスプレイは「プリント デキマス」に戻ります。

「メンテナンス」（新メンテナンスキットへの交換確認の設定）

新メンテナンスキットへの交換確認（メンテナンスキット総印刷イメージ数のリセット）を設定します。主にサービス担当者のメンテナンス用として使用します。

注意：「MK ヲ コウカンシテクダサイ」が表示された場合のみ、「メンテナンス」メニューが表示されます。

1 「＞サービス＞」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「＞＞メンテナンス」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［実行］キーを押してください。「？」が表示されます。

```
>>メンテナンス？
```

4 ［実行］キーを押してください。新メンテナンスキットへの交換確認の設定が行われます。

5 終了すると、メッセージディスプレイは「プリント デキマス」に戻ります。

「DEV-CLN」（現像器・リフレッシュモードの設定）

現像器のリフレッシュモードを設定します。印刷品質が低下したとき、現像器のリフレッシュを行うと、印刷品質を回復することができます。主にサービス担当者のメンテナンス用として使用します。

1 「＞サービス＞」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「＞＞ DEV-CLN」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［実行］キーを押してください。「？」が表示されます。

```
＞＞DEV-CLN？
```

4 ［実行］キーを押してください。現像器リフレッシュが開始され、「シバラク オマチクダサイ」表示されます。

5 終了すると、メッセージディスプレイは「プリント デキマス」に戻ります。

「LSU/ チャージャ」（LSU/ メインチャージャ清掃モードの設定）

LSU/ メインチャージャの清掃モードを設定します。印刷品質が低下したとき、LSU/ メインチャージャの清掃を行うと、印刷品質を回復することができます。主にサービス担当者のメンテナンス用として使用します。

1 **「＞サービス＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「＞＞ LSU/ チャージャ」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押してください。**「？」**が表示されます。

```
＞＞LSU/チャージャ？
```

4 ［**実行**］キーを押してください。LSU/ メインチャージャ清掃モードが開始され、「**シバラク オマチクダサイ（セイソウチュウ）**」が表示されます。

5 終了すると、メッセージディスプレイは**「プリント デキマス」**に戻ります。

「ドラム」（ドラム / リフレッシュモードの設定）

ドラムのリフレッシュモードを設定します。印刷品質が低下したとき、ドラムのリフレッシュを行うと、印刷品質を回復することができます。主にサービス担当者のメンテナンス用として使用します。

1 **「＞サービス＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「＞＞ドラム」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押してください。**「？」**が表示されます。

```
＞＞ドラム？
```

4 ［**実行**］キーを押してください。ドラムのリフレッシュモードが開始され、「**シバラク オマチクダサイ**」が表示されます。

5 終了すると、メッセージディスプレイは**「プリント デキマス」**に戻ります。

3　フォント

本機は、欧文アウトラインフォント（PCL、KPDL）93 書体、欧文アウトラインフォント（Windows Vista）8 書体、欧文ビットマップフォント 1 書体を搭載しています。

内蔵フォント一覧

次は、本機の内蔵フォントのリスト（一例）です。このフォントリストは、操作パネルから印刷できます。手順については、2-12 ページの**「フォントサンプル ノ インサツ」（フォントサンプルの印刷）**を参照してください。

フォントはオプションのメモリカードから、プリンタのメモリにダウンロードすることもできます。

フォントリストの印刷

一例（PCL/KPDL アウトラインフォント 93 書体、ビットマップフォント 1 書体、Windows Vista アウトラインフォント 2 書体）

AlbertusMd
ABCDEabcde?*‘012345’
AlbertusExtBd
ABCDEabcde?*‘012345’
AntiqueOlive
ABCDEabcde?*‘012345’
AntiqueOlive-Bd
ABCDEabcde?*‘012345’
AntiqueOlive-It
ABCDEabcde?‘012345’*
Arial
ABCDEabcde?*‘012345’
Arial-Bd
ABCDEabcde?*‘012345’
Arial-It
ABCDEabcde?‘012345’*
Arial-BdIt
ABCDEabcde?*‘012345’
CGOmega
ABCDEabcde?*‘012345’
CGOmega-Bd
ABCDEabcde?*‘012345’
CGOmega-It
ABCDEabcde?‘012345’*
CGOmega-BdIt
ABCDEabcde?*‘012345’
CGTimes
ABCDEabcde?*‘012345’
CGTimes-Bd
ABCDEabcde?*‘012345’
CGTimes-It
ABCDEabcde?‘012345’*
CGTimes-BdIt
ABCDEabcde?*‘012345’
Clarendon-Cd
ABCDEabcde?*‘012345’
Courier
ABCDEabcde?*‘012345’
Courier-Bd
ABCDEabcde?*‘012345’
Courier-It
ABCDEabcde?‘012345’*
Courier-BdIt
ABCDEabcde?*‘012345’
CourierPS
ABCDEabcde?*‘012345’
CourierPS-Bd
ABCDEabcde?*‘012345’
CourierPS-Ob
ABCDEabcde?‘012345’*
CourierPS-BdOb
ABCDEabcde?*‘012345’
Coronet
ABCDEabcde?‘012345’*
GaramondAntiqua
ABCDEabcde?*‘012345’
Garamond-Hlb
ABCDEabcde?*‘012345’
Garamond-Krsv
ABCDEabcde?‘012345’*
Garamond-HlbKrsv
ABCDEabcde?*‘012345’
Helvetica
ABCDEabcde?*‘012345’
Helvetica-Bd
ABCDEabcde?*‘012345’
Helvetica-Ob
ABCDEabcde?‘012345’*
Helvetica-BdOb
ABCDEabcde?*‘012345’
Helvetica-Nr
ABCDEabcde?*‘012345’
Helvetica-NrBd
ABCDEabcde?*‘012345’
Helvetica-NrOb
ABCDEabcde?‘012345’*
Helvetica-NrBdOb
ABCDEabcde?*‘012345’
ITCAvantGardeGothic-Bk
ABCDEabcde?*‘012345’
ITCAvantGardeGothic-Dm
ABCDEabcde?*‘012345’
ITCAvantGardeGothic-BkOb
ABCDEabcde?‘012345’*
ITCAvantGardeGothic-DmOb
ABCDEabcde?*‘ 012345’
ITCBookman-Lt
ABCDEabcde?*‘012345’
ITCBookman-Dm
ABCDEabcde?*‘012345’
ITCBookman-LtIt
ABCDEabcde?‘012345’*
ITCBookman-DmIt
ABCDEabcde?*‘012345’
ITCZapfChancery-MdIt
ABCDEabcde?‘012345’*
ITCZapfDingbats
✡✢✣✤✥❁❂❃❄❅✝☛ ✐✑✒✓✕
LetterGothic
ABCDEabcde?*‘012345’
LetterGothic-Bd
ABCDEabcde?*‘012345’
LetterGothic-It
ABCDEabcde?‘ 012345’*
Marigold
ABCDEabcde?*‘012345’
NewCenturySchoolbook-Rom
ABCDEabcde?*‘012345’
NewCenturySchoolbook-Bd
ABCDEabcde?*‘012345’
NewCenturySchoolbook-It
ABCDEabcde?‘012345’*
NewCenturySchoolbook-BdIt
ABCDEabcde?*‘012345’

Palatino
ABCDEabcde?*‘012345’
Palatino-Bd
ABCDEabcde?*‘012345’
Palatino-It
ABCDEabcde?‘012345’*
Palatino-BdIt
ABCDEabcde?*‘012345’
Symbol
ΑΒΧΔΕαβχδε?∗012345
SymbolPS
ΑΒΧΔΕαβχδε?∗012345
TimesNewRoman
ABCDEabcde?*‘012345’
TimesNewRoman-Bd
ABCDEabcde?*‘012345’
TimesNewRoman-It
ABCDEabcde?‘012345’*
TimesNewRoman-BdIt
ABCDEabcde?*‘012345’
Times-Rom
ABCDEabcde?*‘012345’
Times-Bd
ABCDEabcde?*‘012345’
Times-It
ABCDEabcde?‘012345’*
Times-BdIt
ABCDEabcde?*‘012345’
Univers-Md
ABCDEabcde?*‘012345’
Univers-Bd
ABCDEabcde?*‘012345’
Univers-MdIt
ABCDEabcde?‘012345’*
Univers-BdIt
ABCDEabcde?*‘012345’
Univers-MdCd
ABCDEabcde?*‘012345’
Univers-BdCd
ABCDEabcde?*‘012345’
Univers-MdCdIt
ABCDEabcde?‘012345’*
Univers-BdCdIt
ABCDEabcde?*‘012345’
Windings
✌✍☝☟♋♌♍♎✍✉❻🗀🗁🗎🗏🗐
LinePrinterBM8.5-Roman (Bitmap font)
ABCDEabcde?*'012345'

Calibri
ABCDEabcde?*'012345'
Calibri-Bd
ABCDEabcde?*'012345'
Calibri-It
ABCDEabcde?'012345'*
Calibri-BdI
ABCDEabcde?*'012345'
Cambria
ABCDEabcde?*'012345'
Cambria-Bd
ABCDEabcde?*'012345'
Cambria-It
ABCDEabcde?'012345'*
Cambria-BdIt
ABCDEabcde?*'012345'

用語集

AppleTalk

Macintosh とプリンタでデータを転送するプロトコルです。Macintosh を複数台接続したり、プリンタを共有する際に使われます。

bpp（bits per pixel）

色深度を表す単位です。1 ピクセル当たりのビット数を表します。4 bpp の場合は 16 階調になります。

dpi（dots per inch）

解像度を表す単位です。1 インチ（25.4 mm）当たりのドット数を表します。

Job Box

印刷データを本機に保存し、後から操作パネルで印刷したり、複数部印刷したりできる機能です。

KM-NET for Direct Printing

Adobe Acrobat/Adobe Reader を起動せずに、PDF ファイルを印刷できるユーティリティです。付属の CD-ROM に収録されています。

KM-NET VIEWER

ネットワーク上のプリンタの状態を確認できるネットワークマネージメントツールです。付属の CD-ROM に収録されています。

KPDL

本機に搭載されている PostScript 3 互換のページ記述言語です。アウトラインフォントや図形の印刷に高い機能を持ちます。

PCL

ページ記述言語のひとつです。TrueType フォントをプリンタで扱える機能などがあります。本機は PCL6 エミュレーションモードを搭載しています。

PostScript

印刷物の出力などで一般的なページ記述言語のひとつです。本機は PostScript 互換のページ記述言語 KPDL を搭載しています。

RAM ディスク

プリンタのメモリの一部を利用した仮想ディスクで、プリンタの総メモリの中から、任意のメモリサイズを RAM ディスクとして設定することによって、電子ソート（印刷時間の短縮）などの機能が使えるようになります。

TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol)

PC とプリンタでデータを転送するプロトコルです。PC を複数台接続したり、プリンタを共有する際に使われます。

USB

プリンタと PC を接続するインタフェースです。本機は Hi-Speed モードに対応し、最大 480 Mbps のデータ転送ができます。

アウトラインフォント

フォントの輪郭を数式によって記録しており、拡大しても輪郭のなめらかな美しい印刷が行えます。フォントサイズは 0.25 ポイント単位で最大 999.75 ポイントまで設定できます。

エミュレーション

他のプリンタのページ言語を解釈し、実行する機能です。本機は PCL 6、KPDL のエミュレーションを備えています。

オートスリープ

プリンタ本体の操作やデータの送受信が一定の時間行われないと起動されます。スリープモード時は電力の消費は最小に抑えられます。

オフライン

受信したデータを処理しますが、印刷しない状態です。印刷するにはオンラインに切り替えてください。

オンライン

受信したデータを印刷できる状態です。

拡張メモリ

本機は 1 つの拡張スロットを装備しており増設できます。使用できる DIMM については京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にお問い合わせください。電話番号は最終ページを参照してください。

環境設定コマンド（FRPO コマンド）

本機は印刷設定を内部のメモリに記憶しています。環境設定コマンドで設定すると、電源を入れたときの初期設定にすることができます。

ステータスページ

プリンタに関する様々な情報を確認することができるページです。

プリスクライブ（PRESCRIBE）コマンド

京セラミタプリンタに搭載されている独自のプリンタ制御言語で、プリンタに必要な様々な設定を行うことができます。また、ニーモニックで記述されたわかりやすいコマンドであるため、プログラミングを容易にします。

プリンタドライバ

アプリケーションで作成したデータを印刷するために使用するソフトウェアです。付属の CD-ROM に収録されています。

ラスタライズ

文字や画像の印刷データを、プリンタで印刷するためにビットマップデータとして表現することです。

付録

インタフェース

プリンタの USB インタフェースおよびネットワークインターフェースについて、主な特長や基本仕様（ピンの割当て、信号、コネクタ仕様など）を説明します。

USB インタフェース

特長

本機の USB（ユニバーサルシリアルバス）インタフェースは、Hi-Seed USB 2.0 に対応しています。USB インタフェースの仕様と信号は次のとおりです。

仕様

基本仕様

Universal Serial Bus Specification Revision 2.0 に準拠しています。

コネクタ

プリンタ：B レセプタクル（メス）アップストリームポート

ケーブル：B プラグ（オス）

ケーブル

5 m 以下の USB 2.0 適合ケーブル。シールドされているケーブル線を使用してください。

転送モード

High-Speed（最大 480 Mbps）

Full-Speed（最大 12Mbps）

電源コントロール

自己電源デバイス

インタフェース信号

USB 接続ピン割り当て

ピン	信号	説明
1	Vbus	電源（+5 V）
2	D-	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グラウンド
シェル		シールド

ネットワークインタフェース

特長

IP アドレスを自動で解決

DHCP/DHCPv6 プロトコルに対応しており、DHCP/DHCPv6 サーバによって自動的に IP アドレスを受け取ることができます。

Web ブラウザによる管理

HTTP ページを内蔵しており、Web ブラウザを使用して、各種設定状態のモニ タや変更ができます。各種設定は、パスワードによってセキュリティを確保できます。

各種プロトコルをサポート

代表的な SMTP、POP3、SSL、SNMP、IPv6、NetBIOS over TCP/IP などをサポートし、プリンタの管理やセキュリティ強化に役立ちます。

IEEE802.1x をサポート

EAP-TLS、PEAP 認証方式に対応しています。

IPv6 をサポート

IPv4 をベースに、管理できるアドレス空間の増大、セキュリティ機能の追加、優先度に応じたデータの送信などの改良を施した次世代インターネットプロトコル IPv6 に対応しています。

IPSec をサポート

ネットワーク層（IP 層）で、認証および暗号化を行うセキュリティプロトコル IPSec に対応しています。

仕様

コネクタ

10 Base-T/100 Base-TX

動作オペレーティングシステム （Windows 系、Macintosh 系）

Windows 2000/XP/Vista/Server2003, MacOS 10.x

ネットワーク・プロトコル

- IPv6: HTTP, LPD, FTP, IPP, RawPort, ICMPv6, LLTD, SNTP, DHCPv6, SMTP, POP3, DNS, SNMPv1/v2c/v3, WSD
- IPv4: HTTP, HTTPS, LPD, FTP, IPP, RawPort, ICMP, DHCP, SMTP, POP3, SNTP, DNS, WINS, NetBIOS over TCP/IP, SNMPv1/v2c/v3, Apple Bonjour Compatible, IPPS, LLTD, WSD
- その他 : IPX/SPX, NetWare (NDS/Bindery), AppleTalk, NetBEUI

セキュリティ・プロトコル

SSL/TLS (HTTPS, IPPS), SNMPv3, EAP-TLS, PEAP, AH, ESP

注意：IPv6 機能を使用するときは、ネットワークを構成する機器 (Router や PC) が IPv6 に対応している必要があります。

環境設定コマンド

本機は、印刷設定に関する各種の情報を内部メモリに記憶しています。これらの情報はプリスクライブ FRPO コマンドによって登録・変更でき、電源投入時のプリンタの初期状態として設定されます。

ここでは、FRPO コマンドとそのパラメータの使用例を説明します。

プリスクライブコマンドの詳細については、付属の CD-ROM（Product Library）に収録されている、**プリスクライブコマンド・リファレンスマニュアル**を参照してください。プリスクライブコマンドごとの書式や機能について、実行例を含めて説明しています。

環境設定コマンドの設定

現在の FRPO パラメータの設定値は、サービスステータスページで確認できます。

参考：FRPO パラメータを変更する前に、サービスステータスページを印刷しておくことをおすすめします。なお、FRPO INIT コマンドですべての FRPO パラメータを、プリンタの初期状態にもどすこともできます。（!R! FRPO INIT; EXIT;）

FRPO コマンドは次の書式で実行します。

!R! FRPO パラメータ , 設定値 ; EXIT;

例ーエミュレーションを PCL6 に設定

!R! FRPO P1, 6; EXIT;

FRPO パラメータ

項目	FRPO	設定値	工場設定
起動時のパターン解像度	B8	0:300 dpi 1:600 dpi	0
ページ方向	C1	0: 縦置き（ポートレート） 1: 横置き（ランドスケープ）	0
起動フォント†	C2 C3 C5	起動フォント番号の中 2 桁 起動フォント番号の最後 2 桁 起動フォント番号の最初の 2 桁	0 0 0
受信データバッファ容量	H8	0 ～ 99　FRPO S5 の値で積算（0: 10 K バイト）	5
タイムアウトの時間	H9	1 ～ 99　5 秒単位	6（30 秒）
両面印刷モードの選択	N4	0: オフ 1: ロングエッジモード（長辺とじ） 2: ショートエッジモード（短辺とじ）	0
スリープ時間	N5	1 ～ 240　1 分単位	15
エコプリントモード	N6	0: オフ 2: オン	2
エミュレーションモード	P1	6:PCL 6 9:KPDL	6

項目	FRPO	設定値	工場設定
キャリッジリターンの処理	P2	0: 無視 1:CR 2:CR+LF	1
改行の処理	P3	0: 無視 1:LF 2:CR+LF	1
KPDL 自動切り替え	P4	0: なし 1: 自動切り替え	0
AES オプション 自動エミュレーション切り替え（AES）が起動するページ排出コマンド および処理動作	P7	**AES 起動後、KPDL または代替エミュレーションのどちらにも該当しないデータは、KPDL で処理** 0: すべてのページ排出コマンド 1: なし 2: すべてのページ排出コマンドおよびプリスクライブ EXIT コマンド 3: プリスクライブ EXIT コマンドのみ 4:^L コマンドのみ 6: プリスクライブ EXIT コマンドおよび ^L コマンド **AES 起動後、KPDL または代替エミュレーションのどちらにも該当しないデータは代替エミュレーションで処理** 10:KPDL 印刷データ以外では、自動切替先エミュレーションで印刷処理	10
コマンド認識文字	P9	33 ～ 99 の ASCII コード	82（R）
用紙サイズ（起動時）	R2	0: 給紙カセットのサイズ（R4 参照） 1:Envelope Monarch 2:Envelope #10 3:Envelope DL 4:Envelope C5 5:Executive 6:Letter 7:Legal 8:ISO A4 9:JIS B5 13:ISO A5 14:ISO A6 15:JIS B6 16:Envelope #9 17:Envelope #6-3/4 18:ISO B5 19:Custom 31: はがき 32: 往復はがき 33:Oficio II 40:16K 50:Statement 51:Folio 52: 洋形 2 号（封筒） 53: 洋形 4 号（封筒）	0

項目	FRPO	設定値	工場設定
初期給紙元	R4	0: 手差しトレイ 1: カセット 1 2: カセット 2 3: カセット 3 4: カセット 4	1
手差しトレイの用紙サイズ	R7	0: 最大用紙サイズ その他のパラメータは R2 と同じ	8 (A4)
A4/Letter の共通給紙	S4	0: オフ 1: オン	1
ホストバッファサイズ積算値 （H8 の値と積算）	S5	0:10 KB 1:100 KB 2:1 MB	1
RAM ディスクサイズ	S6	0 ～ 1024 MB 単位	400
RAM ディスクモード	S7	0: オフ 1: オン	0
ワイド A4 対応	T6	0: オフ 1: オン	0
行間隔†	U0	インチあたりの行数 / 整数部分	6
行間隔†	U1	インチあたりの行数 / 小数部分	0
文字間隔†	U2	インチあたりの文字数 / 整数部分	10
文字間隔†	U3	インチあたりの文字数 / 小数部分	0
内蔵フォントの国別コード	U6	0:US 1: フランス 2: ドイツ 3: イギリス 4: デンマーク 5: スウェーデン 6: イタリア 7: スペイン 8: 日本 9:US リーガル 10:IBM PC-850（マルチ言語） 11:IBM PC-860（ポルトガル語） 12:IBM PC-863（カナダフランス語） 13:IBM PC-865（ノルウェー語） 14: ノルウェー語 15: デンマーク語 2 16: スペイン語 2 17: ラテンアメリカ 21:US ASCII（U7=50 に設定） 77:HP Roman-8（U7=52 に設定）	0
シンボルセット	U7	0: エミュレーションと同じ 1:IBM 6:IBM PC-8（US） 50:US ASCII（U6=21 に設定） 52:HP Roman-8（U6=77 に設定）	0

項目	FRPO	設定値	工場設定
デフォルトフォントのピッチ†	U7	デフォルトフォントのピッチ設定 / 整数部分	10
デフォルトフォントのピッチ†	U8	デフォルトフォントのピッチ設定 / 小数部分	0
	U9	インチあたりの文字数／小数分：00 ～ 99	0
初期 ANK アウトラインフォント･サイズ†	V0	起動時の ANK アウトラインフォント・サイズの整数 上位 2 桁 / 設定有効範囲値：00 ～ 09	0
	V1	起動時の ANK アウトラインフォント・サイズの整数 下位 2 桁 / 設定有効範囲値：00 ～ 99	12
	V2	起動時の ANK アウトラインフォント・サイズの小数 2 桁 設定有効値：00, 25, 50, 75	0
初期 ANK アウトラインフォント名†	V3	起動時の ANK アウトラインフォント名	Courier
クーリエおよびレターゴシックのフォントタイプ選択	V9	0: クーリエ＝ダーク レターゴシック＝ダーク 1: クーリエ＝レギュラー レターゴシック＝ダーク 4: クーリエ＝ダーク レターゴシック＝レギュラー 5: クーリエ＝レギュラー レターゴシック＝レギュラー	5
カラーモード	W1	0: シロクロ 1: カラー	1
光沢モード	W6	0: なし 1: 光沢モードオン	0
用紙種類（手差しトレイ）	X0	1: 普通紙 2:OHP シート 3: プレ印刷用紙 4: ラベル用紙 5: ボンド紙 6: 再生紙 7: 薄い用紙 9: レターヘッド 10: カラー紙 11: パンチ済み用紙 12: 封筒 13: はがき 14: コート紙 16: 厚い用紙 17: 上質紙 21 ～ 28: カスタム 1 ～カスタム 8	1

項目	FRPO	設定値	工場設定
用紙種類（本体カセット 1）	X1	1: 普通紙 3: プレ印刷用紙 5: ボンド紙 6: 再生紙 9: レターヘッド 10: カラー紙 11: パンチ済み用紙 17: 上質紙 21 ～ 28: カスタム 1 ～カスタム 8	1
用紙種類（カセット 2、3、4） ※カセット 4 は、FS-C5300DN のみ	X2 X3 X4	（PF-500 の場合） 1: 普通紙 3: プレ印刷用紙 5: ボンド紙 6: 再生紙 9: レターヘッド 10: カラー紙 11: パンチ済み用紙 17: 上質紙 21 ～ 28: カスタム 1 ～カスタム 8 （PF-510 の場合） 1: 普通紙 3: プレ印刷用紙 4: ラベル用紙 5: ボンド紙 6: 再生紙 7: 薄い用紙 9: レターヘッド 10: カラー紙 11: パンチ済み用紙 12: 封筒 13: はがき 14: コート紙 16: 厚い用紙 17: 上質紙 21 ～ 28: カスタム 1 ～カスタム 8	1
給紙カセット選択モード（PCL）	X9	0: 用紙種類の設定によって給紙カセットを切り替え 1: カセットの用紙サイズによって自動的に給紙カセットを切り替え	0
エラー時のオートエラークリア（［**印刷可 / 解除**］キーを押して解除するエラーのみ）	Y0	0: オフ 1: オン	0
オートエラークリアのエラー解除時間	Y1	1 ～ 99　5 秒単位	6（30 秒）
両面印刷時の用紙エラー検知 給紙元固定時の用紙サイズ・種類のエラー検知	Y3	0: 検知しない 1: 検知する	0

項目	FRPO	設定値	工場設定
強制両面印刷設定（用紙種類がプレプリント、パンチズミシおよびレターヘッドのみ）	Y4	0: オフ 1: オン	0
PDF ダイレクト動作	Y5	0: 用紙に合わせて拡大縮小 1:PDF 内の紙サイズ指定で用紙選択 2:PDF 内の紙サイズ指定によって、A3、A4、Letter から選択し、用紙に合わせて拡大縮小 3:PDF 内の紙サイズ指定で、A3、A4、Letter から印刷 8: 等倍で印刷 9:PDF 内の紙サイズ指定によって、Letter、Legal、A4 から選択 10:PDF 内の紙サイズ指定によって、Letter、Legal、A4 から選択し、用紙に合わせて拡大縮小 13 ～ 99：初期値（0）と同じ動作	0
ジョブボックス　エラー制御	Y6	0: エラー制御をしない 1: エラーレポートを出力する 2: エラーを表示する 3: エラーを表示、およびエラーレポートを出力する	3

† エミュレーションによっては無視されます。

索引

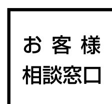
KYOCERA お客様相談窓口のご案内

京セラミタ製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡ください。市内通話料金でご利用いただけます。

京セラミタ株式会社
京セラミタジャパン株式会社

〒103-0023　東京都中央区日本橋本町1-9-15

http://www.kyoceramita.co.jp





0570-046562

受付時間
● 9:00～17:00
（但し、土曜日、日曜日及び祝日は除く）

市内通話料金でご利用いただけます。

©2008 京セラミタ株式会社

KYOCERA は京セラ株式会社の登録商標です。

Revision 1.0 2008.6